

# 長期入院児童生徒に対する教育支援に関する 実態調査の概要

## 1. 調査の目的

近年、医療の進歩等による入院期間の短期化や、短期間で入退院を繰り返す者、退院後も引き続き治療や生活規制が必要なために小・中学校等への通学が困難な者への対応など、病院等に入院又は通院して治療を受けている児童生徒等を取り巻く環境は大きく変化している。

今回の調査は、こうした状況を踏まえ、平成25年度中に病気やけがによって入院した児童生徒に対して行われた教育等の実態を把握するものである。

## 2. 調査対象期間

平成25年4月1日～平成26年3月31日

## 3. 調査の対象

### 【学校】

全国の国公私立小学校、中学校、中等教育学校、高等学校、特別支援学校(小～高等部)

### 【教育委員会】

全都道府県及び市町村教育委員会

## 4. 主な調査事項

### 【学校】

- 病気やけがによる入院により学籍に変更(転学等)があった児童生徒数について
- 入院に伴い一時転学等をしている児童生徒に対する学校の支援について
- 病気やけがにより長期にわたり入院した児童生徒数について
- 長期にわたり入院した児童生徒に対する学校の支援について

### 【教育委員会】

- 転学等が必要になった場合の支援について
- 長期にわたる入院が必要になった場合の支援について

# 目次

## ■ 全体

1. 病気やけがによる入院により、転学等をした児童生徒数  
(復籍した児童生徒数、復籍したのち再度転学した児童生徒数)  
(国公私別、学校種別) 【1】
2. 病気やけがによる入院により、転学等をした児童生徒のいる学校数  
(国公私別、学校種別) 【3】
3. 病気やけがにより、年間延べ30課業日以上入院した児童生徒数  
(国公私別、学校種別) 【4】
4. 病気やけがにより、年間延べ30課業日以上入院した児童生徒のいる学校数  
(国公私別、学校種別) 【5】

## ■ I 小・中学校(国立、公立、私立 合計)

1. 病気やけがによる入院により、転学等をした児童生徒の転学先 【7】
2. 一時転学等をしている児童生徒に対する学校の取組 【8】
3. 病気やけがにより、延べ30課業日以上入院した児童生徒への対応
  - ①学習指導(授業)の方法 【9】
  - ②学習指導(授業)の形態ごとの平均回数及び平均時間 【10】
  - ③学習指導(授業)以外の取組 【15】

## ■ II 高等学校(国立、公立、私立 合計)

1. 病気やけがによる入院により、転学等をした生徒の転学先 【17】
2. 転学等をした生徒が復籍を希望した場合の取扱い 【18】
3. 一時転学等をしている生徒に対する学校の取組 【19】
4. 病気やけがにより、延べ30課業日以上入院した生徒への対応
  - ①学習指導(授業)の方法 【20】
  - ②学習指導(授業)の形態ごとの平均回数及び平均時間 【21】
  - ③学習指導(授業)以外の取組 【24】

## ■ III 特別支援学校 小・中学部(国立、公立、私立 合計)

1. 病気やけがによる入院により、転学等をした児童生徒の転学先 【26】
2. 一時転学等をしている児童生徒に対する学校の取組 【27】
3. 病気やけがにより、延べ30課業日以上入院した児童生徒への対応
  - ①学習指導(授業)の方法 【28】
  - ②学習指導(授業)の形態ごとの平均回数及び平均時間 【30】
  - ③学習指導(授業)以外の取組 【35】

# 目次

## ■ IV 特別支援学校 高等部(国立、公立、私立 合計)

1. 病気やけがによる入院により、転学等をした生徒の転学先 【37】
2. 転学等をした生徒が復籍を希望した場合の取扱い 【38】
3. 一時転学等をしている生徒に対する学校の取組 【39】
4. 病気やけがにより、延べ30課業日以上入院した生徒への対応
  - ①学習指導(授業)の方法 【40】
  - ②学習指導(授業)の形態ごとの平均回数及び平均時間 【42】
  - ③学習指導(授業)以外の取組 【46】

## ■ V 都道府県・指定都市教育委員会

1. 転学等が必要になった場合の支援(小学校、中学校、特別支援学校) 【48】
2. 入院等が必要になった場合の支援(小学校、中学校、特別支援学校) 【49】
3. 転学等が必要になった場合の支援(高等学校) 【50】
4. 入院等が必要になった場合の支援(高等学校) 【51】

# 1. 病気やけがによる入院により、転学等をした児童生徒数

(延べ人数)

		小学校	中学校	高等学校	特別支援学校 (小学部)	特別支援学校 (中学部)	特別支援学校 (高等部)
国立	①児童生徒数 (全児童生徒数に占める割合)	7 (0.02%)	10 (0.03%)	0 (-)	2 (0.23%)	1 (0.12%)	0 (-)
	②年度内に復籍した児童生徒数 (①に占める割合)	5 (71.4%)	6 (60.0%)	0 (-)	2 (100.0%)	1 (100.0%)	0 (-)
	③復籍後、再度転学等した児童 生徒数 (②に占める割合)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
公立	①児童生徒数 (全児童生徒数に占める割合)	2,415 (0.04%)	1,537 (0.05%)	140 (0.01%)	268 (0.73%)	147 (0.51%)	57 (0.09%)
	②年度内に復籍した児童生徒数 (①に占める割合)	1,804 (74.7%)	1,125 (73.2%)	26 (18.6%)	197 (73.5%)	103 (70.1%)	29 (50.9%)
	③復籍後、再度転学等した児童 生徒数 (②に占める割合)	180 (10.0%)	137 (12.2%)	2 (7.7%)	19 (9.6%)	12 (11.7%)	2 (6.9%)
私立	①児童生徒数 (全児童生徒数に占める割合)	12 (0.02%)	62 (0.02%)	91 (0.08%)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
	②年度内に復籍した児童生徒数 (①に占める割合)	9 (75.0%)	39 (62.9%)	4 (4.4%)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
	③復籍後、再度転学等した児童 生徒数 (②に占める割合)	2 (22.2%)	6 (15.4%)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)

1

(延べ人数)

		小学校	中学校	高等学校	特別支援学校 (小学部)	特別支援学校 (中学部)	特別支援学校 (高等部)
合計	①児童生徒数 (全児童生徒数に占める割合)	2,434 (0.04%)	1,609 (0.05%)	231 (0.01%)	270 (0.72%)	148 (0.50%)	57 (0.09%)
	②年度内に復籍した児童生徒数 (①に占める割合)	1,818 (74.7%)	1,170 (72.7%)	30 (13.0%)	199 (73.7%)	104 (70.3%)	29 (50.9%)
	③復籍後、再度転学等した児童 生徒数 (②に占める割合)	182 (10.0%)	143 (12.2%)	2 (6.7%)	19 (9.6%)	12 (11.5%)	2 (6.9%)

(平成25年度)

- ※ 「転学等」とは、病気やけがによる入院により、元の学校から転学・退学・編入学により学籍が離れたことをいう。
- ※ 「復籍した」とは、退院及びその他特別な事情により、元の学校に学籍を戻したことをいう。
- ※ 全児童生徒数は、平成25年5月1日時点の人数（出典：「学校基本統計」(文部科学省)）
- ※ 中等教育学校前期課程については、中学校に、後期課程については、高等学校にそれぞれ算入した(以下同じ。)

2

## 2. 病気やけがによる入院により、転学等をした児童生徒のいる学校数

(校)

		小学校	中学校	高等学校	特別支援学校 (小学部)	特別支援学校 (中学部)	特別支援学校 (高等部)
国立	学校数	7	10	0	2	1	0
	全学校数に占める割合	9%	13%	0%	4%	2%	0%
公立	学校数	2,186	1,334	127	174	111	61
	全学校数に占める割合	10%	14%	3%	20%	13%	7%
私立	学校数	12	59	72	0	0	0
	全学校数に占める割合	5%	7%	5%	0%	0%	0%
合計	学校数	2,205	1,403	199	176	112	61
	全学校数に占める割合	10%	13%	4%	19%	12%	7%

※ 全学校数は、平成25年5月1日時点の数(以下同じ。)(出典:「学校基本統計」(文部科学省))

(平成25年度)

3

## 3. 病気やけがにより、年間延べ30課業日以上入院した児童生徒数

(延べ人数)

		小学校	中学校	高等学校	特別支援学校 (小学部)	特別支援学校 (中学部)	特別支援学校 (高等部)
国立	児童生徒数	2	13	2	4	5	1
	全児童生徒数に占める割合	0.00%	0.04%	0.02%	0.05%	0.59%	0.12%
公立	児童生徒数	1,464	1,186	805	1,171	897	375
	全児童生徒数に占める割合	0.02%	0.04%	0.04%	3.2%	3.1%	0.6%
私立	児童生徒数	12	92	317	0	1	2
	全児童生徒数に占める割合	0.02%	0.04%	0.3%	—	0.7%	0.4%
合計	児童生徒数	1,478	1,291	1,124	1,175	903	378
	全児童生徒数に占める割合	0.02%	0.04%	0.05%	3.1%	3.1%	0.6%

(平成25年度)

4

## 4. 病気やけがにり、年間延べ30課業日以上入院した児童生徒のいる学校数

(校)

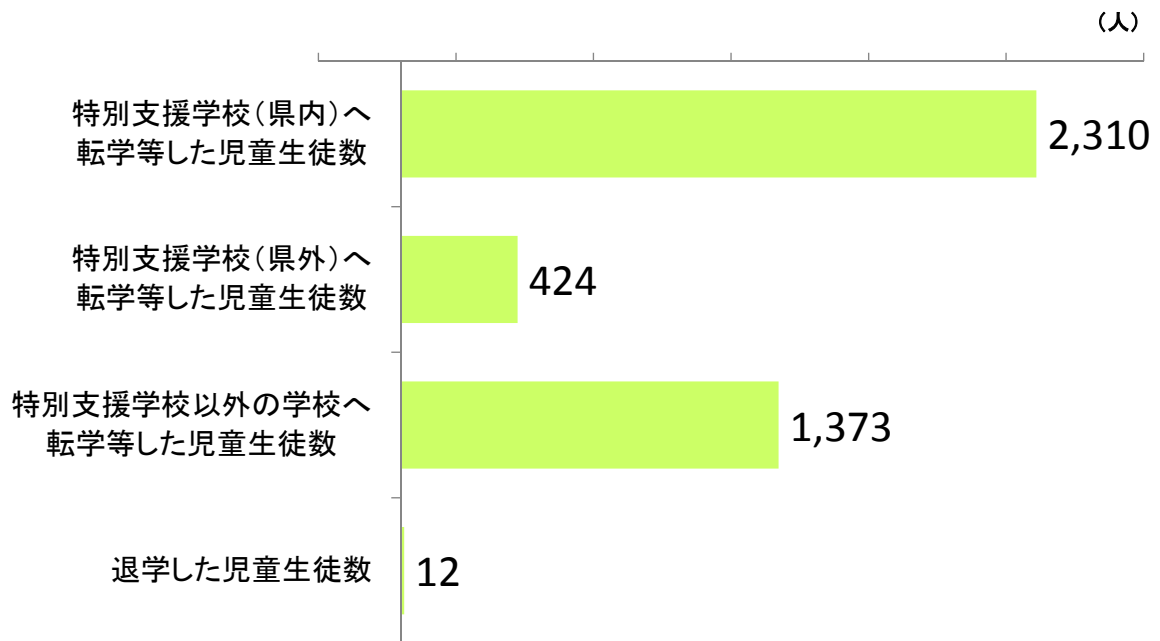
		小学校	中学校	高等学校	特別支援学校 (小学部)	特別支援学校 (中学部)	特別支援学校 (高等部)
国立	学校数	2	10	2	3	4	1
	全学校数に 占める割合	2.7%	13.0%	10.5%	6.7%	9.1%	2.3%
公立	学校数	1,273	1,007	691	208	181	232
	全学校数に 占める割合	6.1%	10.3%	18.8%	23.4%	20.5%	26.5%
私立	学校数	12	82	258	0	1	2
	全学校数に 占める割合	5.4%	10.4%	19.3%	—	11.1%	18.2%
合計	学校数	1,287	1,099	951	211	186	235
	全学校数に 占める割合	6.1%	10.3%	18.9%	22.4%	19.9%	25.2%

(平成25年度)

5

### 1 小・中学校(国立、公立、私立 合計)

# 1 病気やけがによる入院により、転学等をした児童生徒の転学先



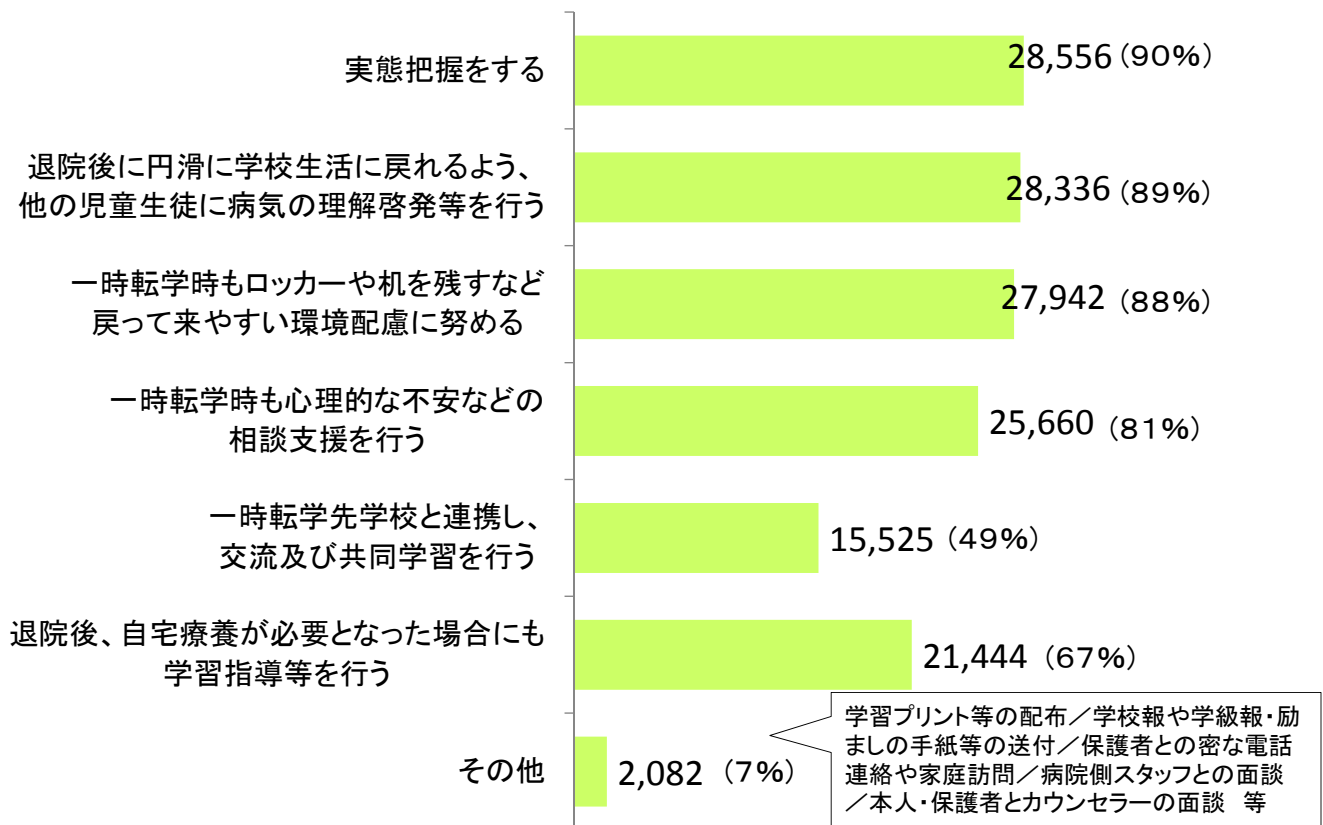
N=4,119 (延べ人数)

(平成25年度)

7

# 2 一時転学等をしている児童生徒に対する学校の取組

(校)

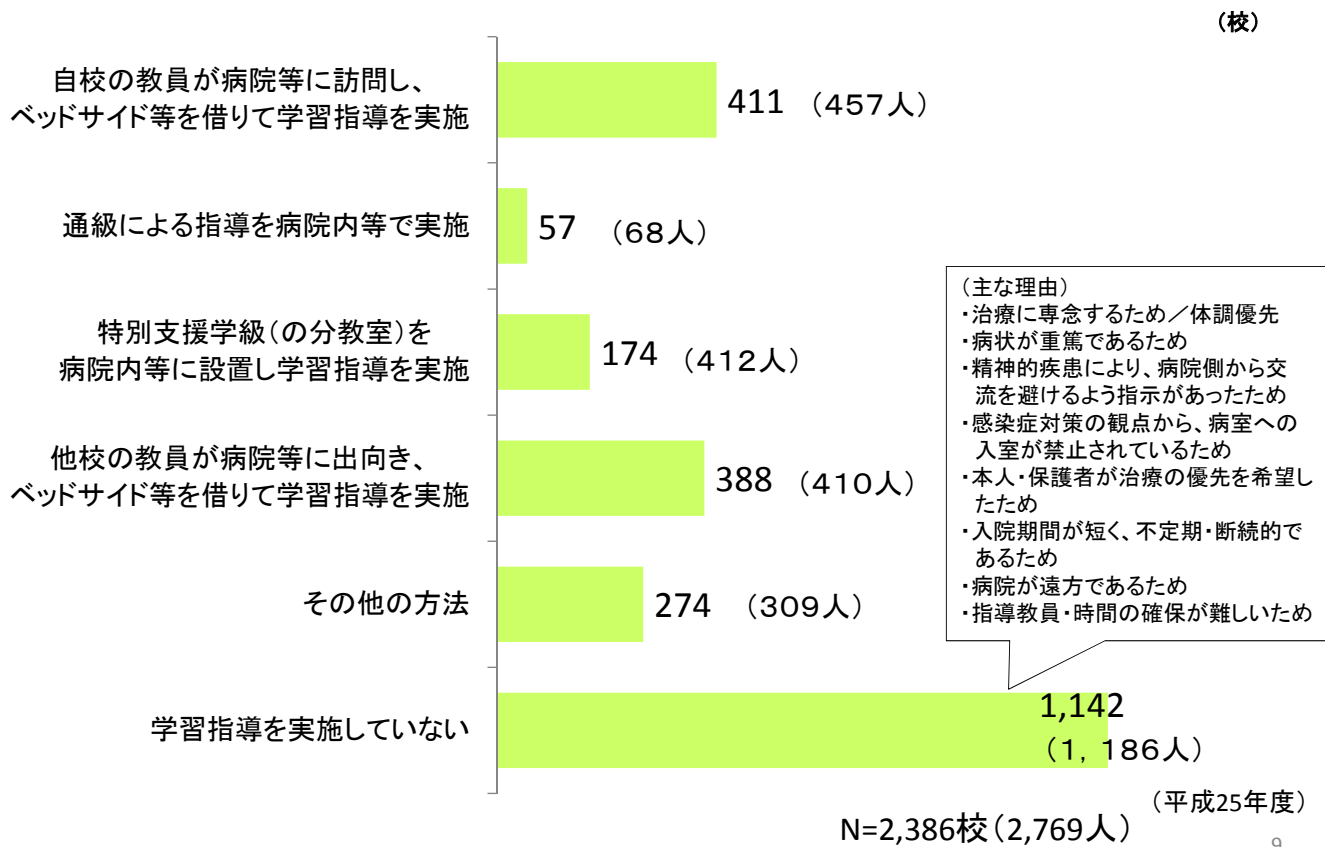


※ 割合は、平成25年5月1日時点の全小・中学校数に占める割合 (出典:「学校基本統計」(文部科学省))

8

### 3 病気やけがにより、延べ30課業日以上入院した児童生徒への対応

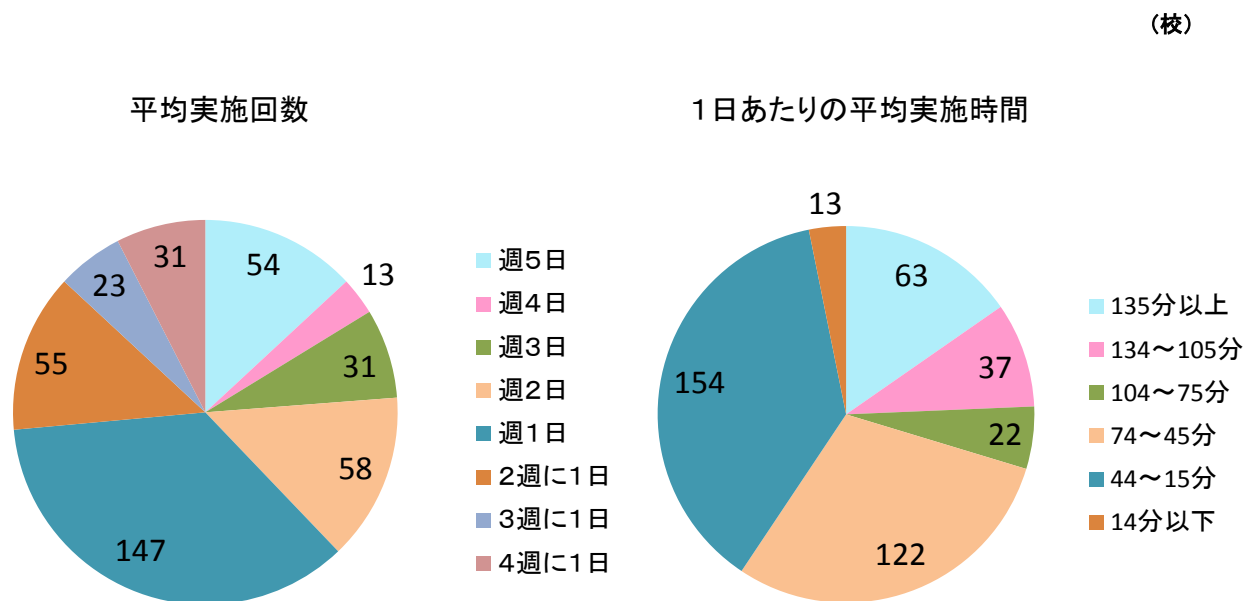
#### ①学習指導(授業)の方法



### 3 病気やけがにより、延べ30課業日以上入院した児童生徒への対応

#### ②学習指導(授業)の形態ごとの平均回数及び平均時間

(1) 自校の教員が病院等に訪問し、ベッドサイド等を借りて学習指導を実施



※ 重複回答をした学校があるため、平均実施回数と平均実施時間の学校数の合計は一致しない。

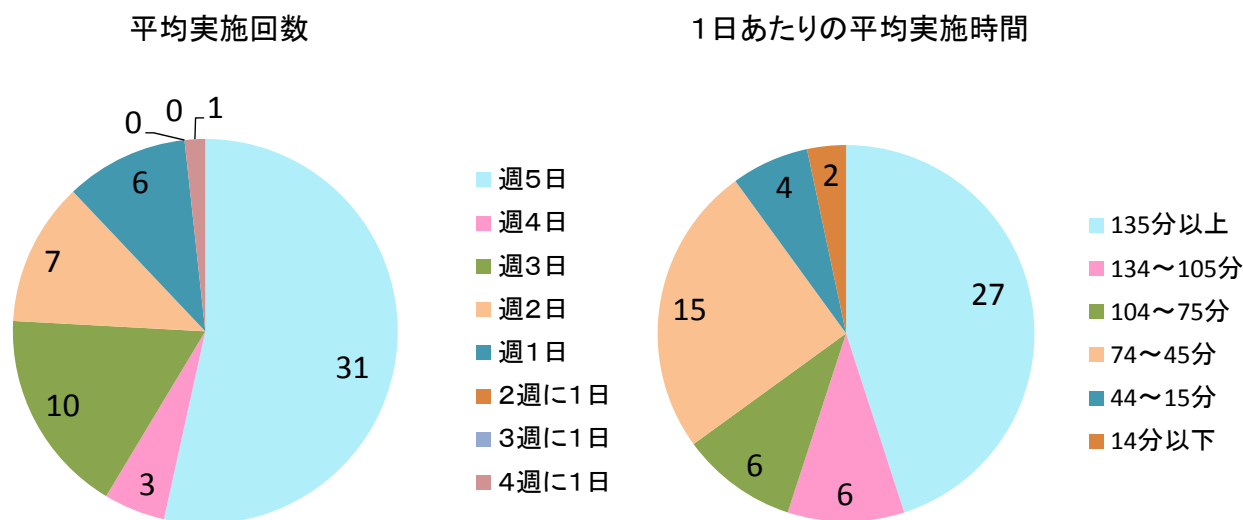


**3 病気やけがにより、延べ30課業日以上入院した児童生徒への対応**

**②学習指導(授業)の形態ごとの平均回数及び平均時間**

(2) 通級による指導を病院内等で実施

(校)



※ 重複回答をした学校があるため、平均実施回数と平均実施時間の学校数の合計は一致しない。

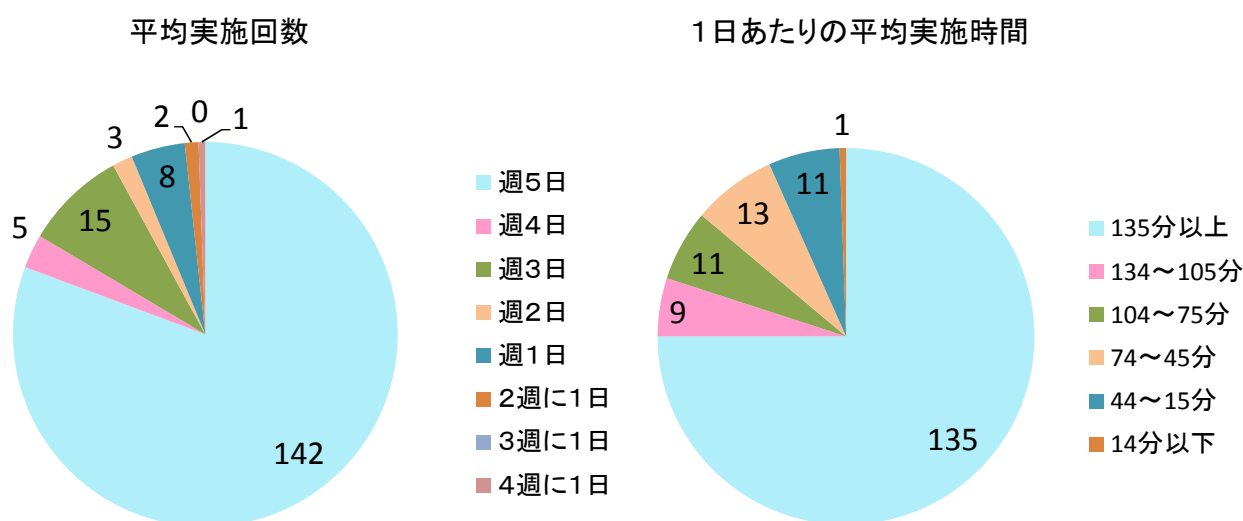
(平成25年度)  
11

**3 病気やけがにより、延べ30課業日以上入院した児童生徒への対応**

**②学習指導(授業)の形態ごとの平均回数及び平均時間**

(3) 特別支援学級(の分教室)を病院内等に設置し、学習指導を実施

(校)



※ 重複回答をした学校があるため、平均実施回数と平均実施時間の学校数の合計は一致しない。

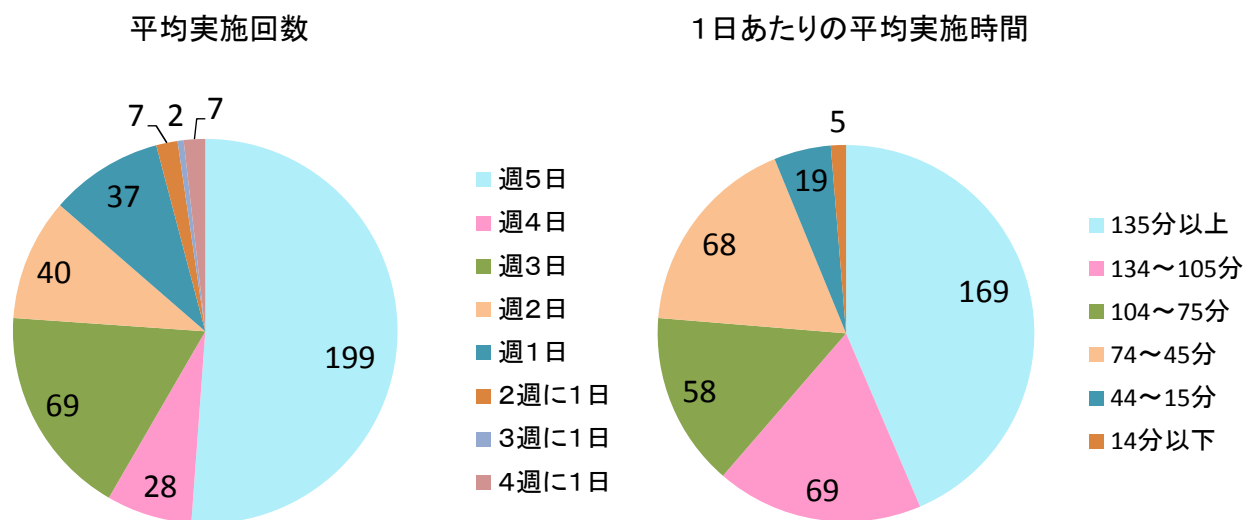
(平成25年度)  
12

**3 病気やけがにより、延べ30課業日以上入院した児童生徒への対応**

**②学習指導(授業)の形態ごとの平均回数及び平均時間**

(4)他校の教員が病院等に出向き、ベッドサイドや会議室等を借りて学習指導を実施

(校)



※ 重複回答をした学校があるため、平均実施回数と平均実施時間の学校数の合計は一致しない。

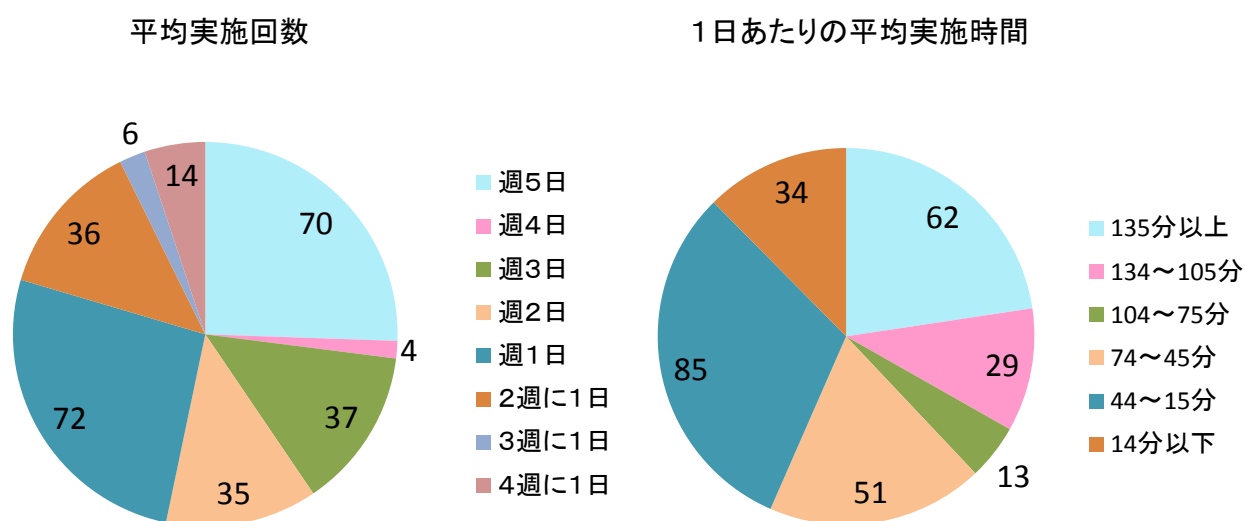
(平成25年度)

**3 病気やけがにより、延べ30課業日以上入院した児童生徒への対応**

**②学習指導(授業)の形態ごとの平均回数及び平均時間**

(5)その他の方法

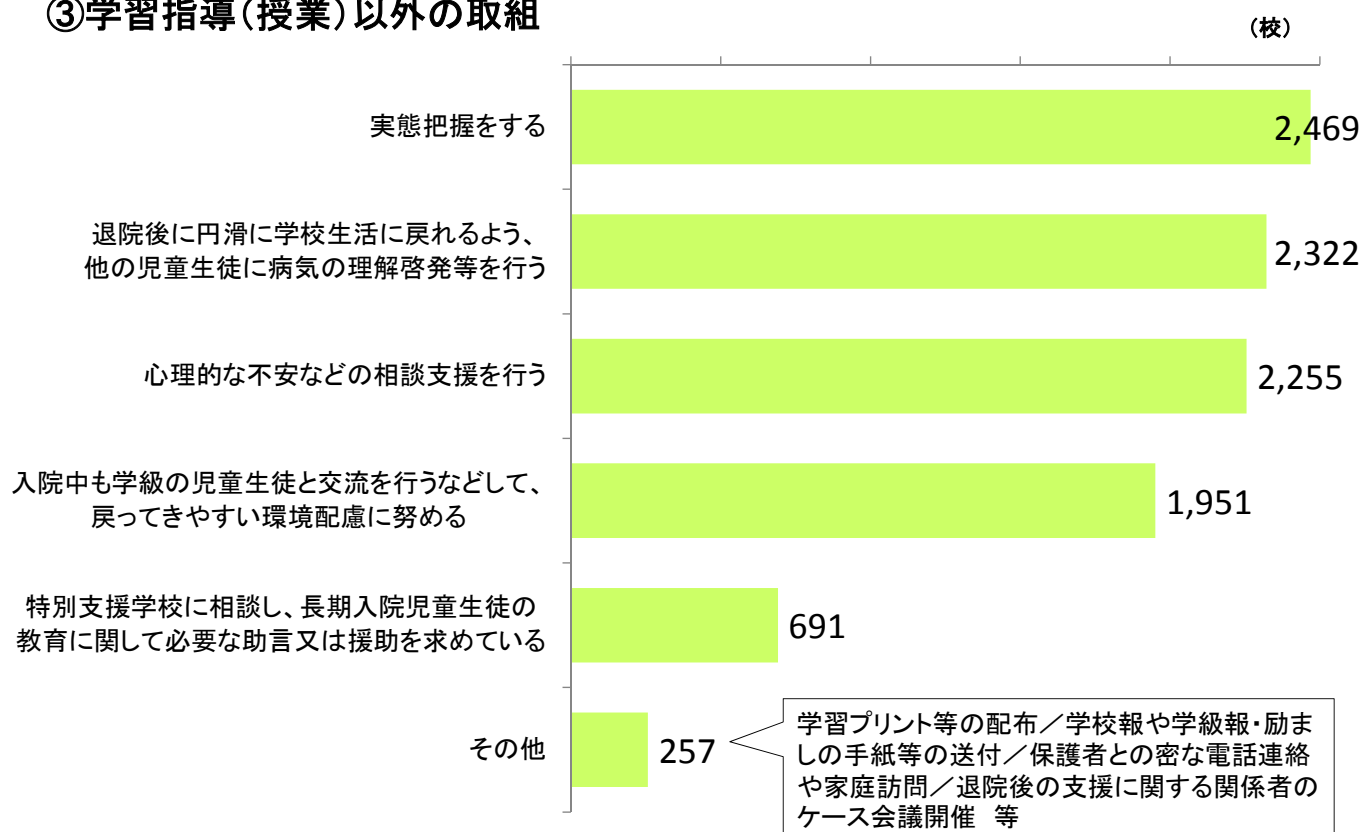
(校)



(平成25年度)

### 3 病気やけがにより、延べ30課業日以上入院した児童生徒への対応

#### ③学習指導(授業)以外の取組



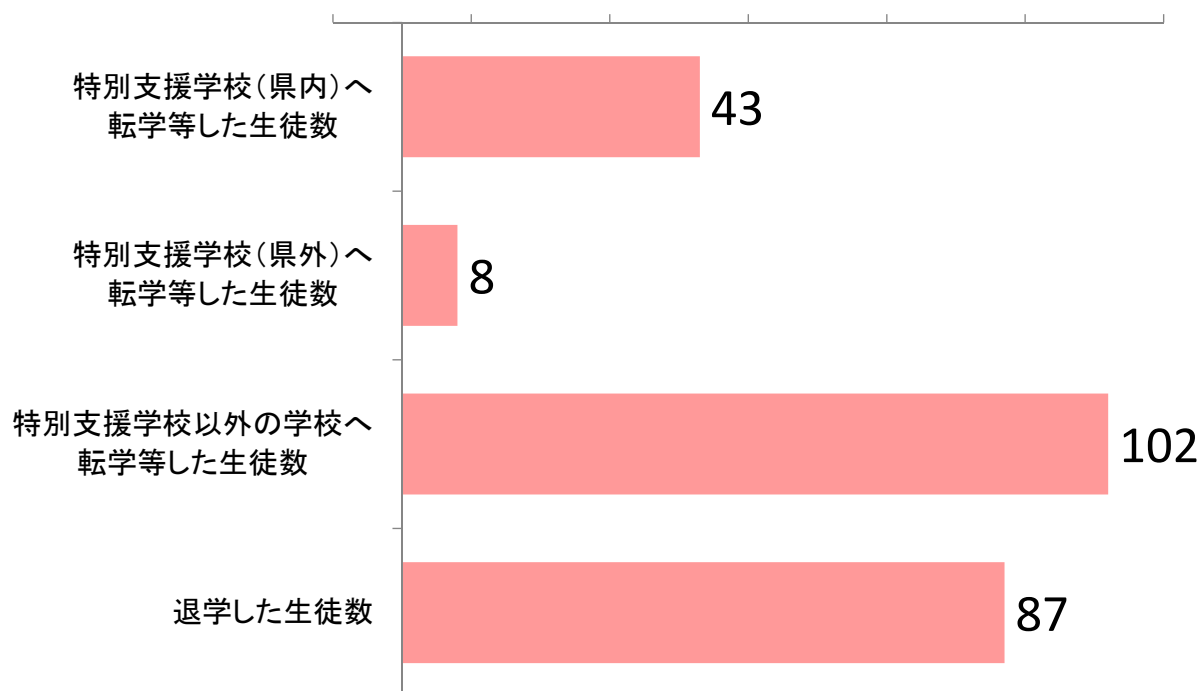
(平成25年度)

15

## II 高等学校(国立、公立、私立 合計)

# 1 病気やけがによる入院により、転学等をした生徒の転学先

(人)

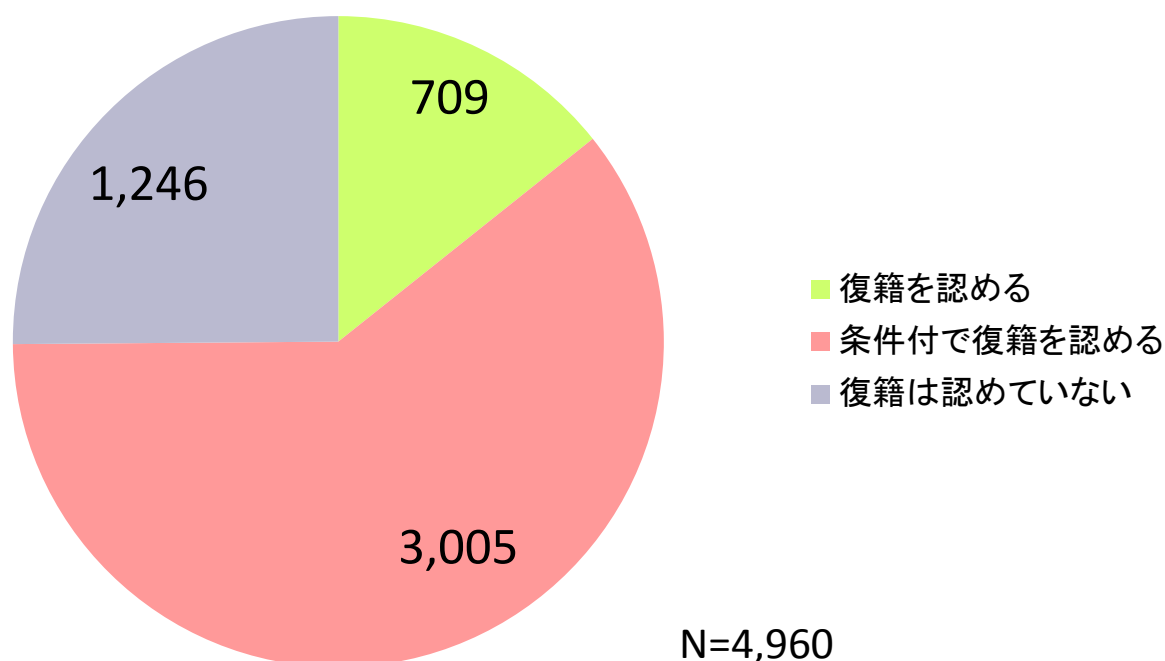


N=240(延べ人数)

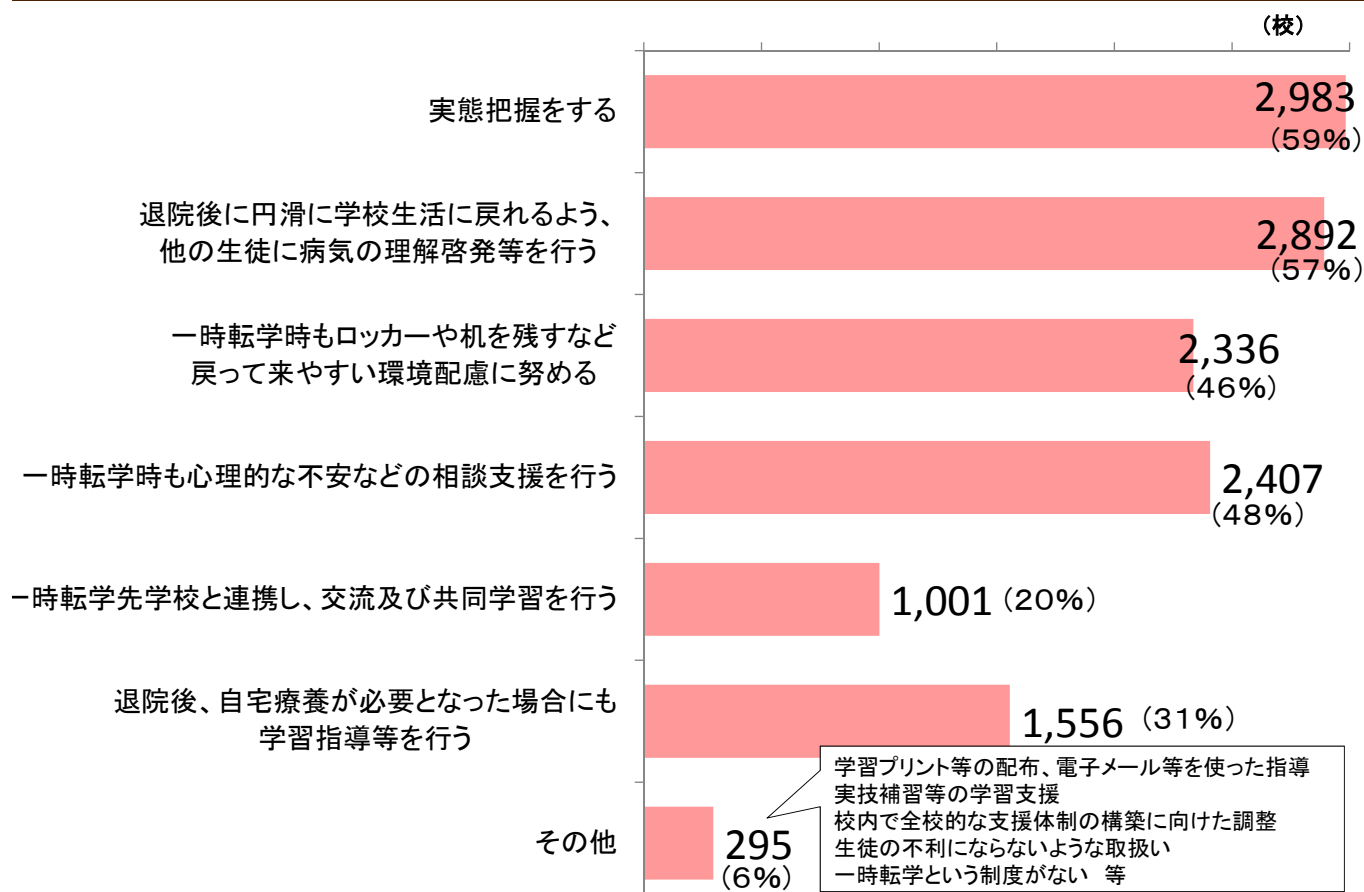
(平成25年度)  
17

# 2 転学等をした生徒が復籍を希望した場合の取扱い

(校)

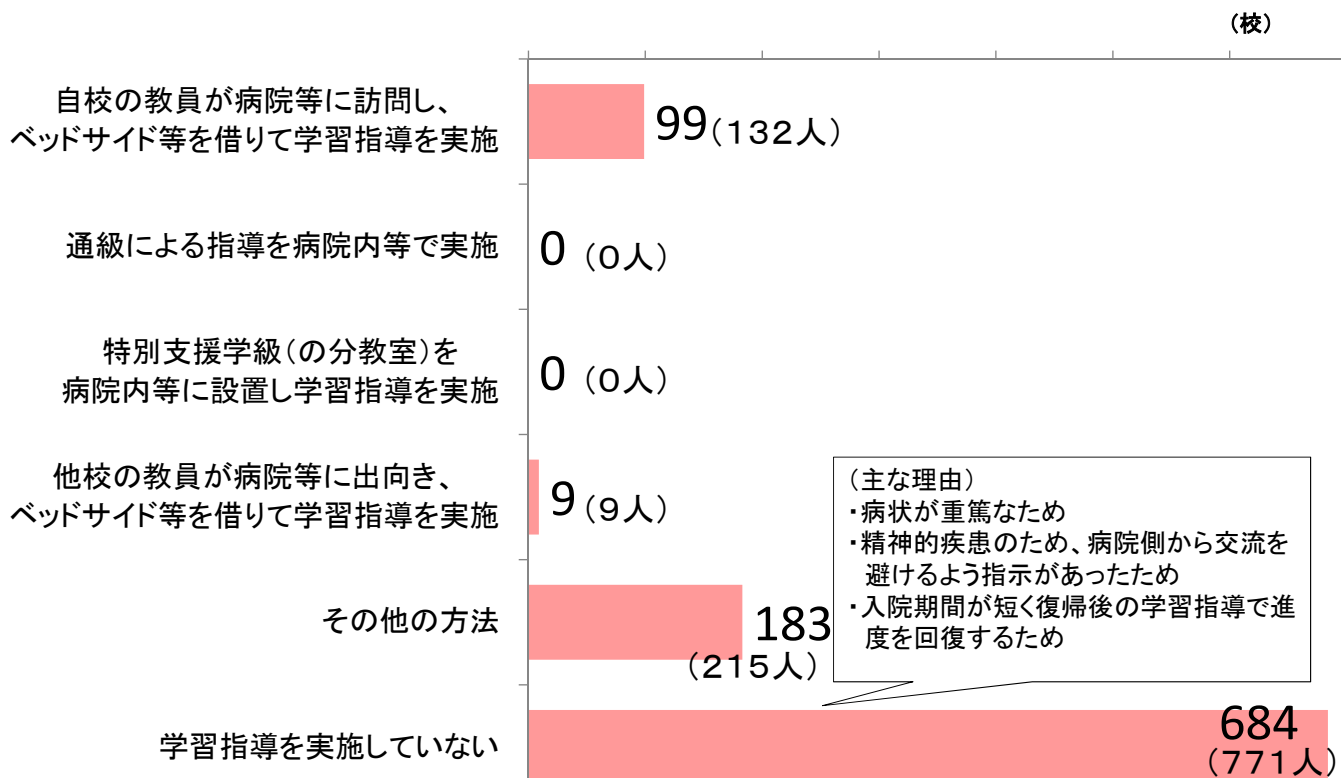


N=4,960



## 4 病気やけがにより、延べ30課業日以上入院した生徒への対応

## ①学習指導(授業)の方法



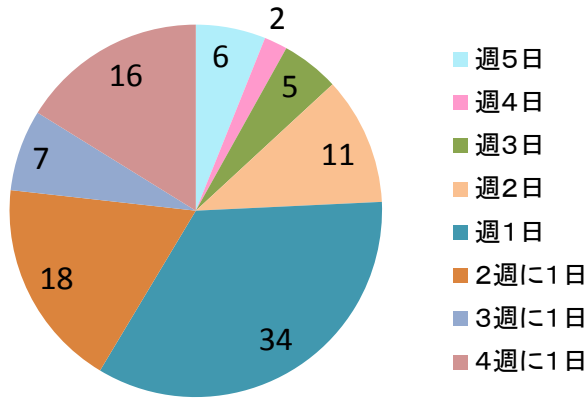
## 4 病気やけがにより、延べ30課業日以上入院した生徒への対応

### ②学習指導(授業)の形態ごとの平均回数及び平均時間

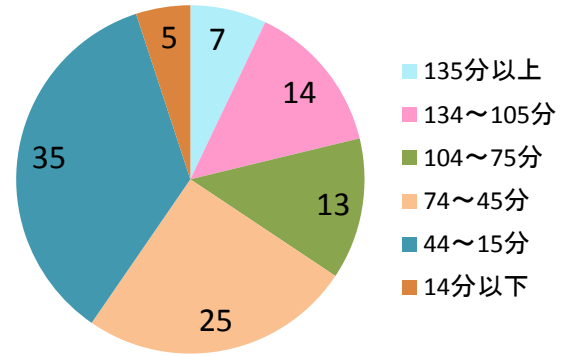
(1) 自校の教員が病院等に訪問し、ベッドサイド等を借りて学習指導を実施

(校)

平均実施回数



1日あたりの平均実施時間



(平成25年度)

21

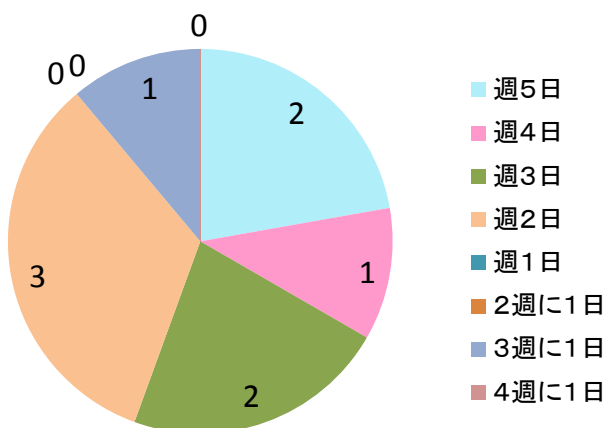
## 4 病気やけがにより、延べ30課業日以上入院した生徒への対応

### ②学習指導(授業)の形態ごとの平均回数及び平均時間

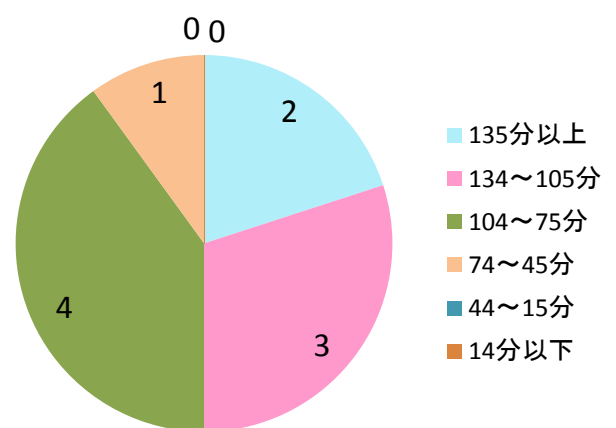
(2) 他校の教員が病院等に出向き、ベッドサイドや会議室等を借りて学習指導を実施

(校)

平均実施回数



1日あたりの平均実施時間



※ 重複回答をした学校があるため、平均実施回数と平均実施時間の学校数の合計は一致しない。

(平成25年度)

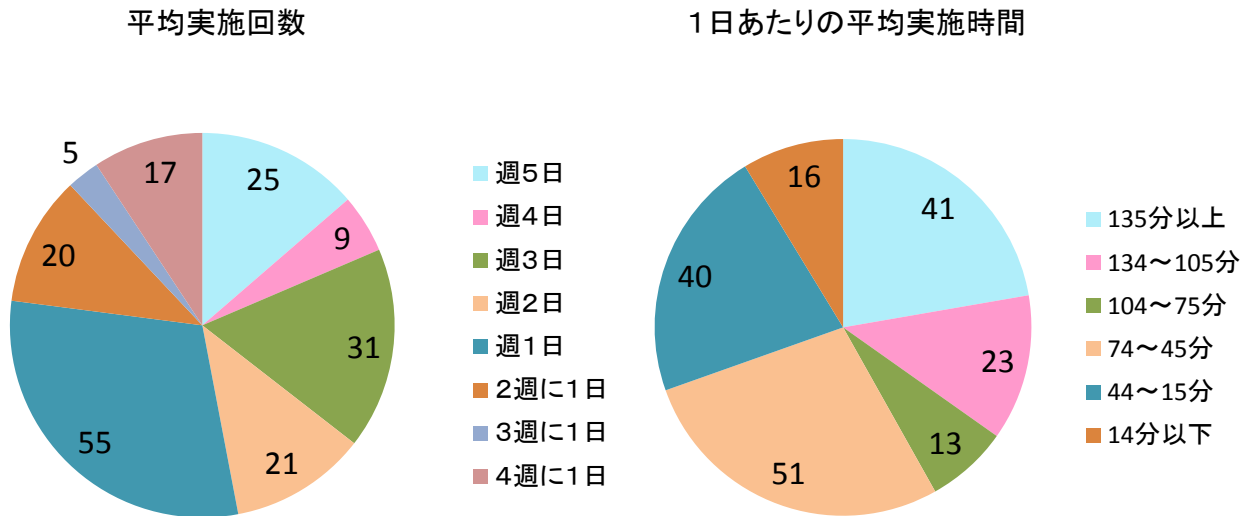
22

## 4 病気やけがにより、延べ30課業日以上入院した生徒への対応

### ②学習指導(授業)の形態ごとの平均回数及び平均時間

#### (3)その他の方法

(校)



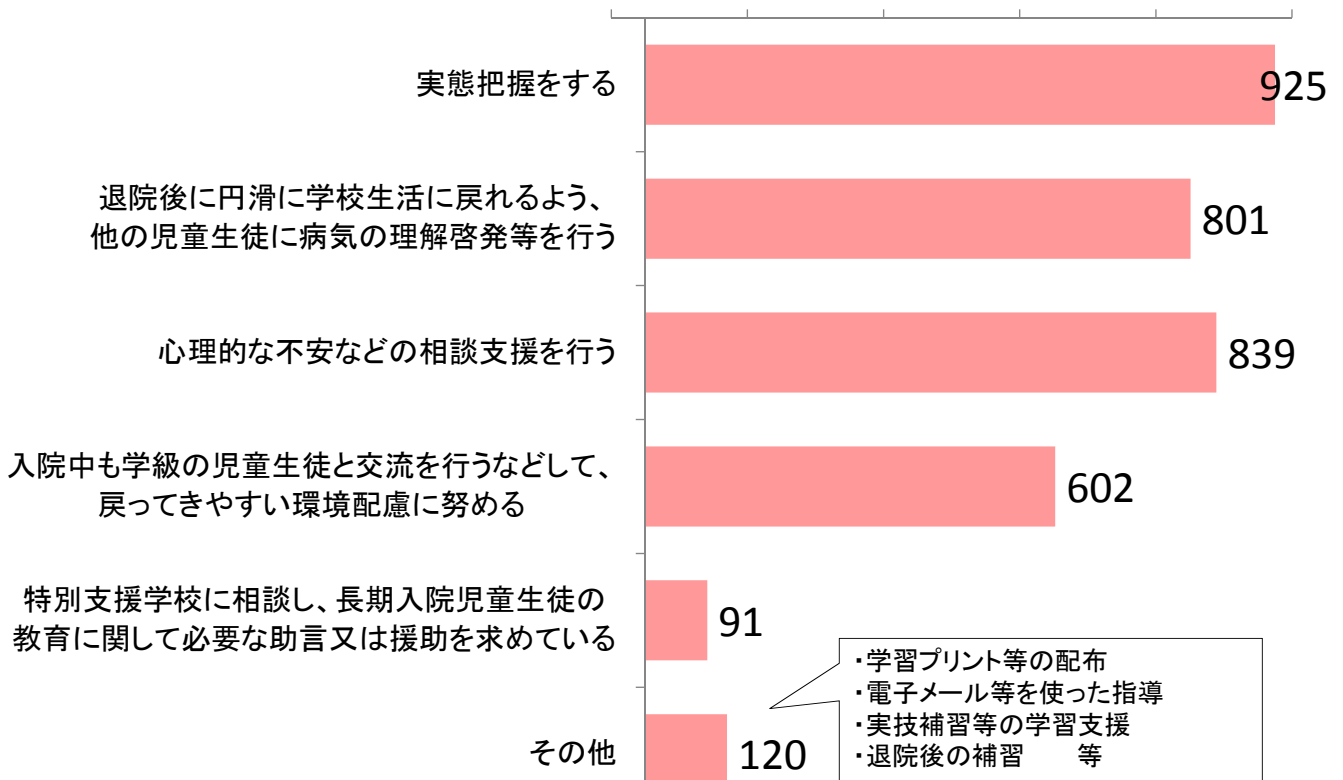
※ 重複回答をした学校があるため、平均実施回数と平均実施時間の学校数の合計は一致しない。

(平成25年度)  
23

## 4 病気やけがにより、延べ30課業日以上入院した生徒への対応

### ③学習指導(授業)以外の取組

(校)

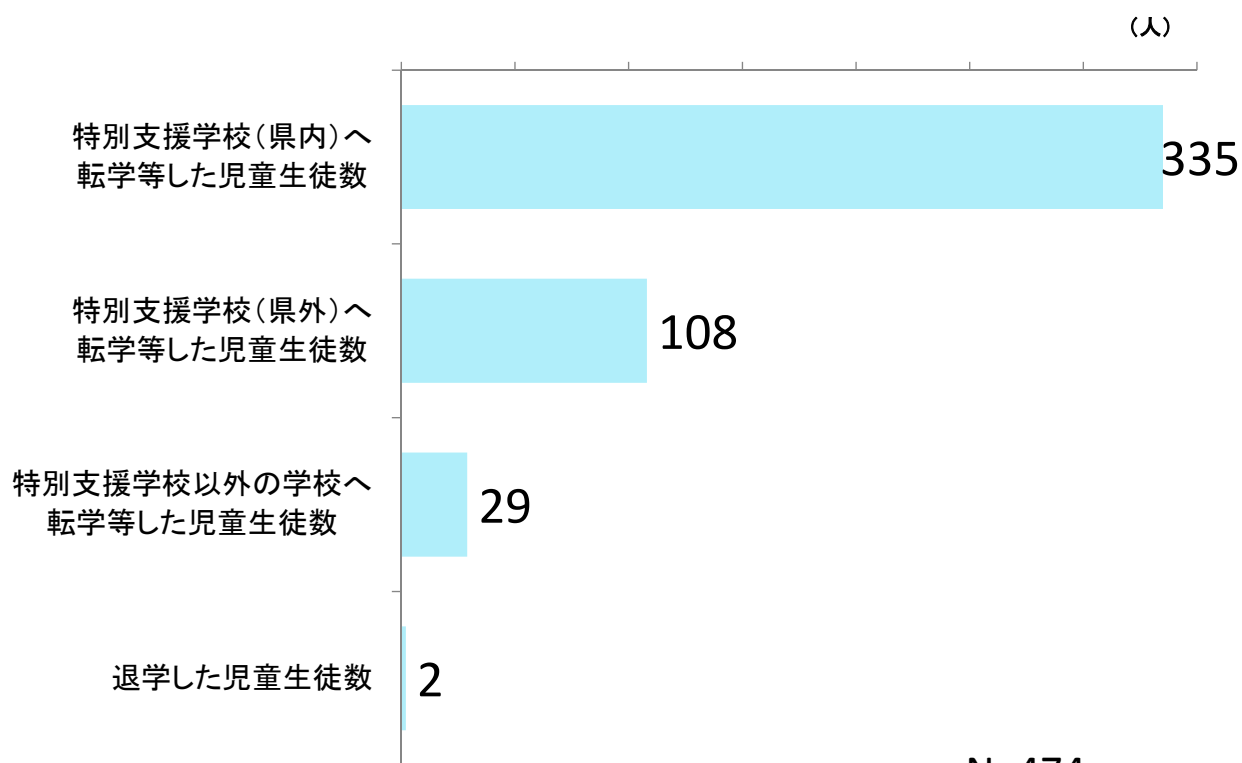


(平成25年度)  
24

### Ⅲ 特別支援学校 小・中学部(国立、公立、私立 合計)

25

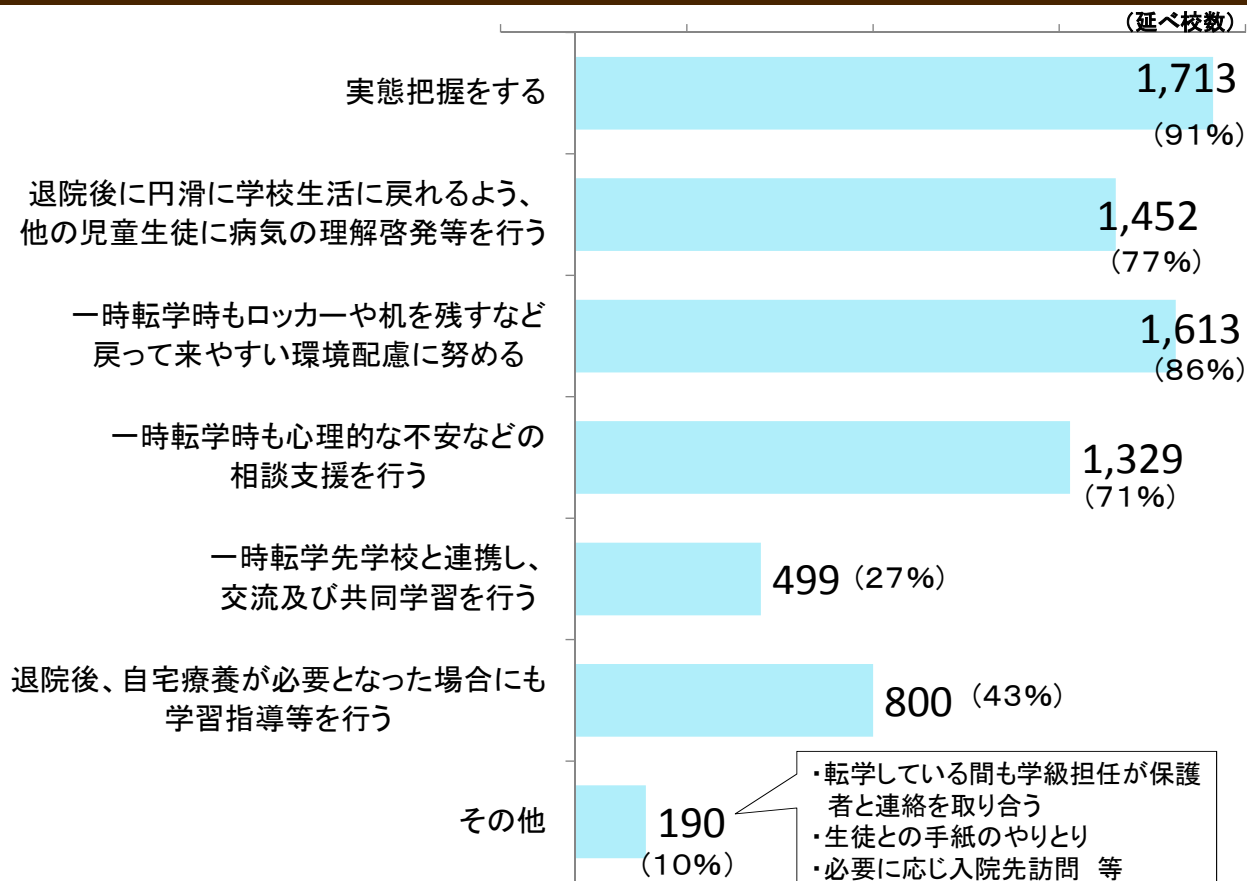
#### 1 病気やけがによる入院により、転学等をした児童生徒の転学先



N=474(延べ人数)

(平成25年度)



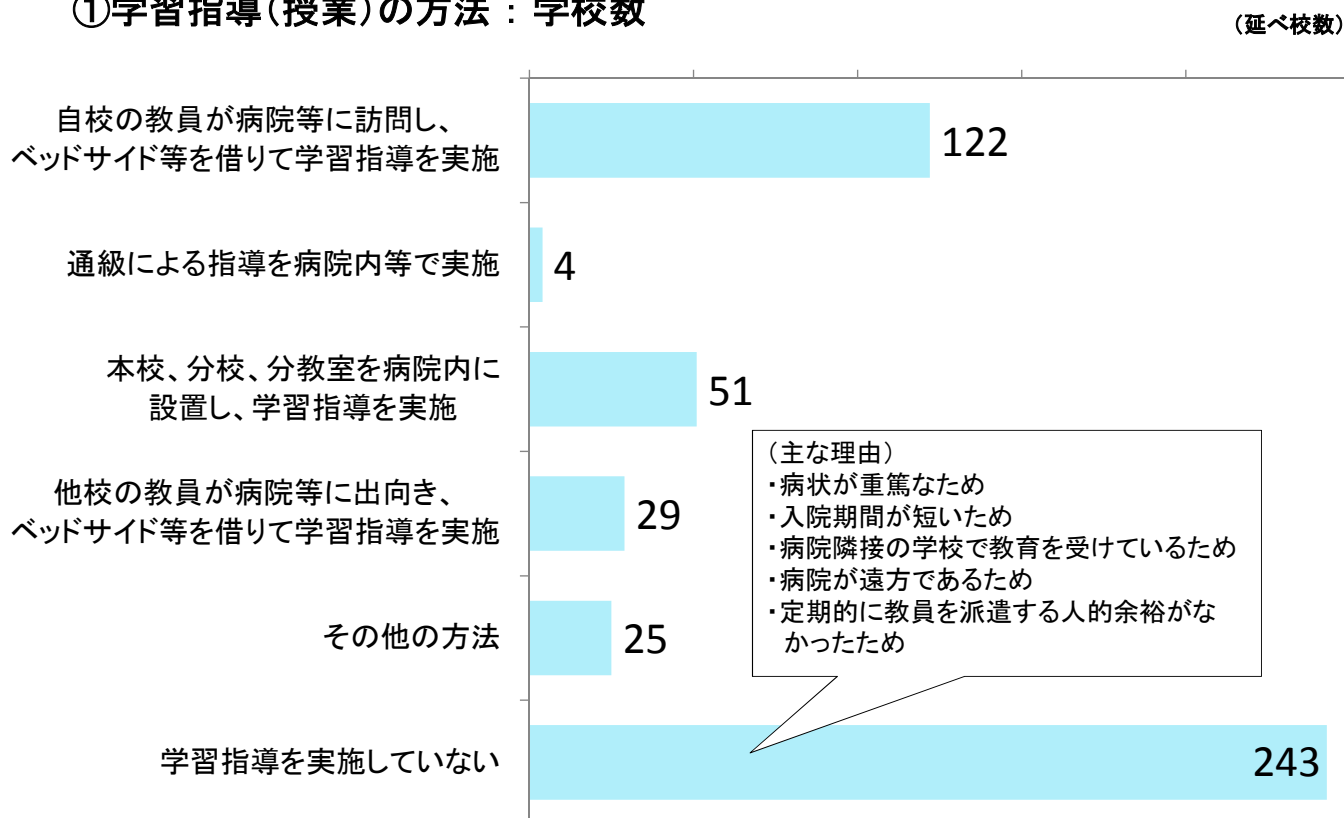


※ 割合は、平成25年5月1日時点の全小・中学部数に占める割合 (出典:「学校基本統計」(文部科学省))

27

## 3 病気やけがにより、延べ30課業日以上入院した児童生徒への対応

## ①学習指導(授業)の方法：学校数



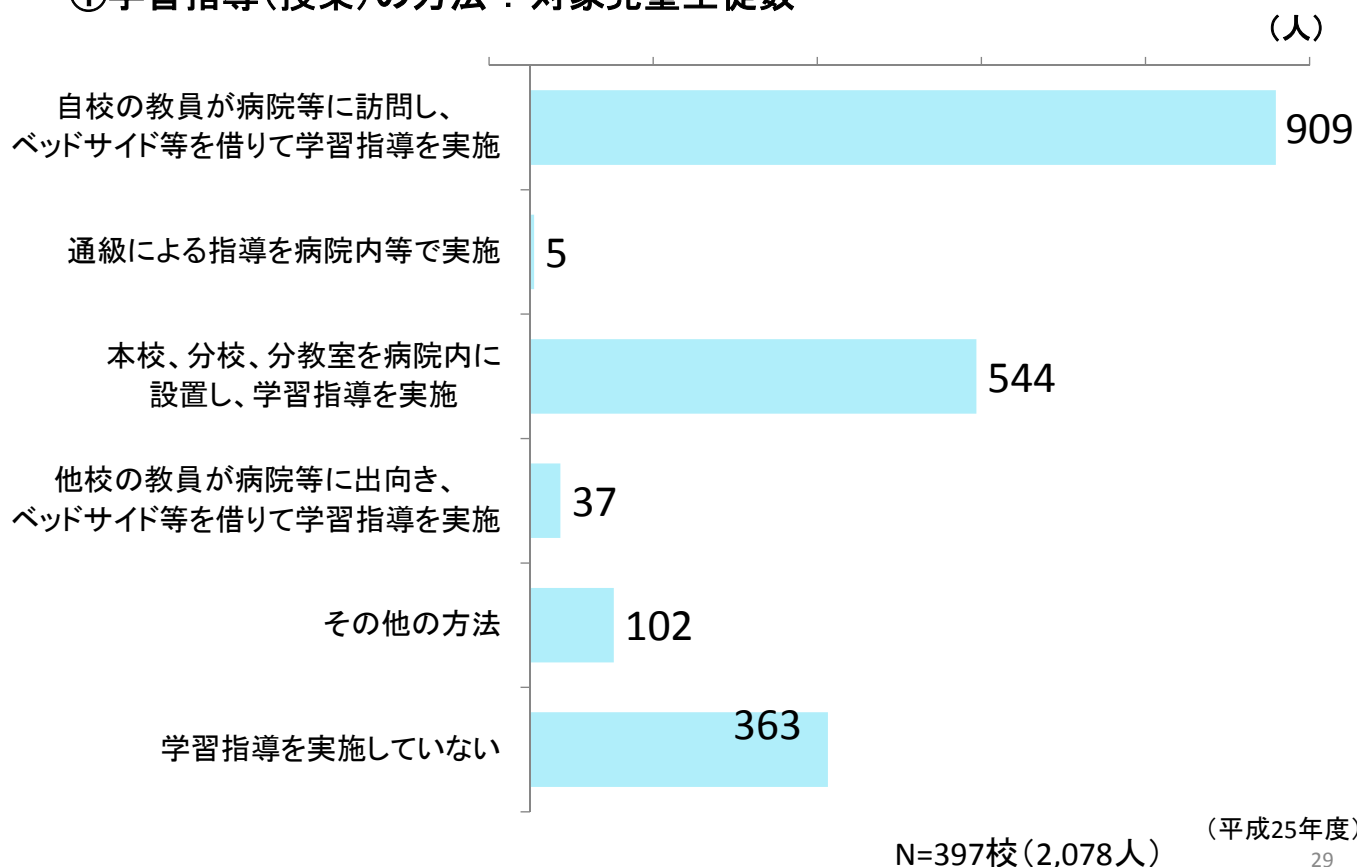
N=397校(2,078人)

(平成25年度)

28

### 3 病気やけがにより、延べ30課業日以上入院した児童生徒への対応

#### ①学習指導(授業)の方法：対象児童生徒数

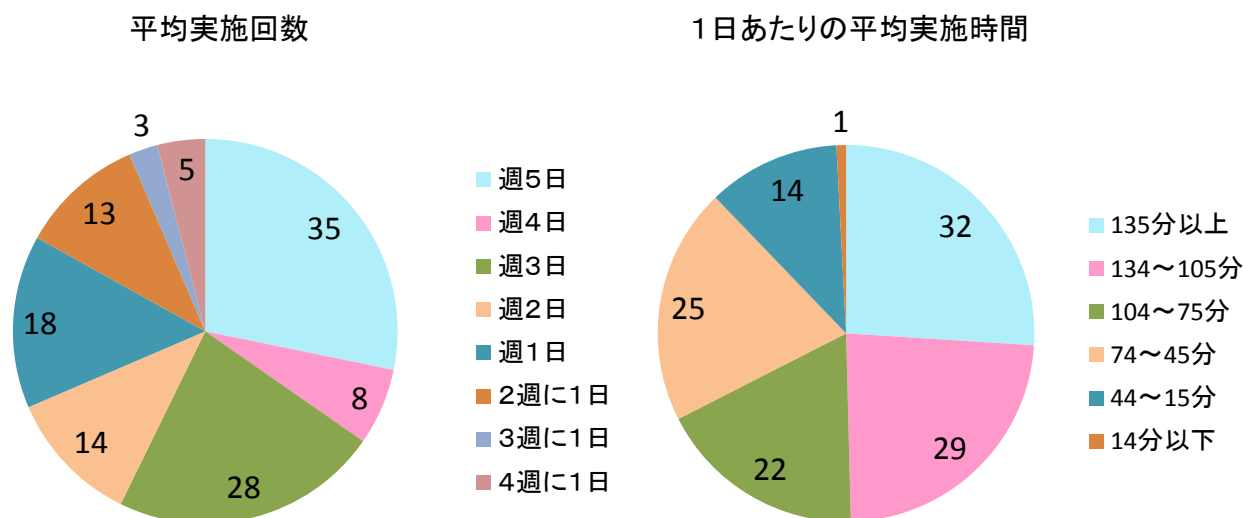


### 3 病気やけがにより、延べ30課業日以上入院した児童生徒への対応

#### ②学習指導(授業)の形態ごとの平均回数及び平均時間

(1) 自校の教員が病院等に訪問し、ベッドサイド等を借りて学習指導を実施

(延べ校数)



※ 重複回答をした学校があるため、平均実施回数と平均実施時間の学校数の合計は一致しない。

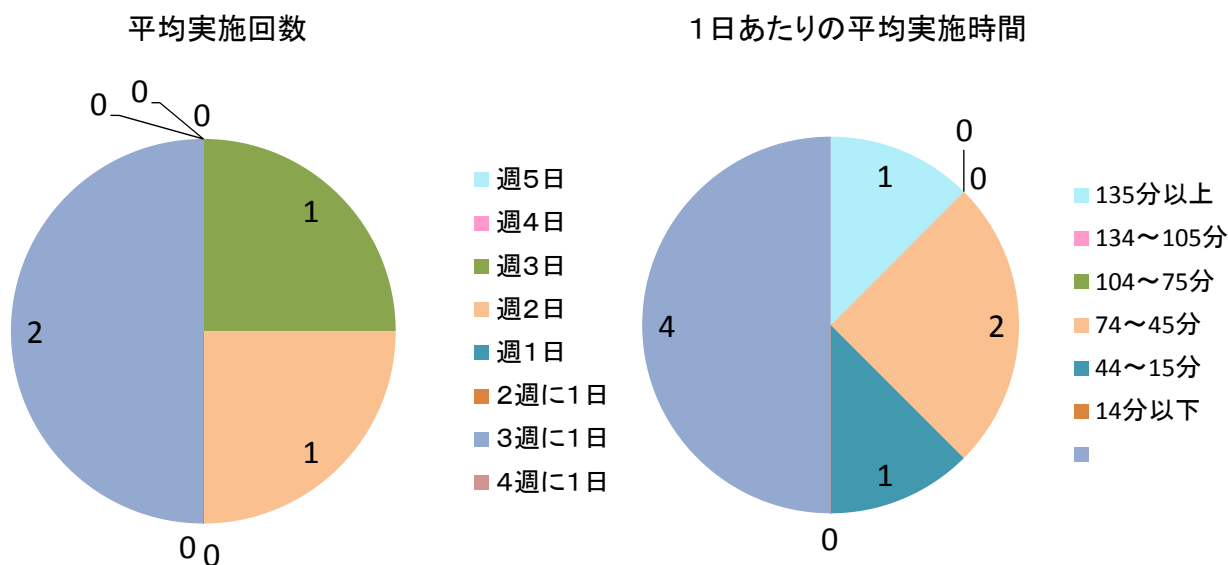
(平成25年度)

### 3 病気やけがにより、延べ30課業日以上入院した児童生徒への対応

#### ②学習指導(授業)の形態ごとの平均回数及び平均時間

(2)通級による指導を病院内等で実施

(延べ校数)



※ 重複回答をした学校があるため、平均実施回数と平均実施時間の学校数の合計は一致しない。

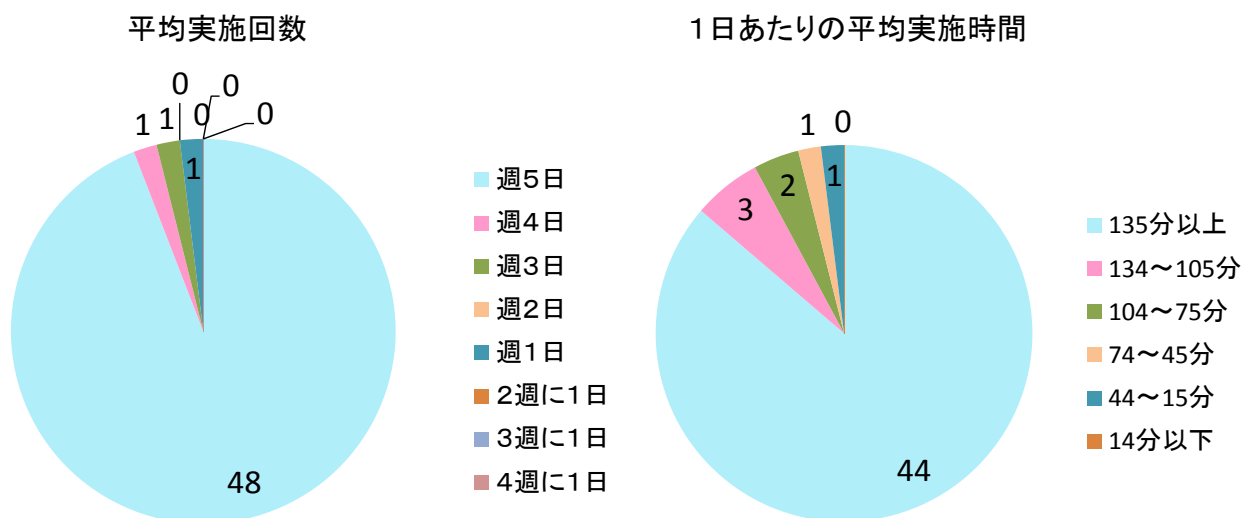
(平成25年度)  
31

### 3 病気やけがにより、延べ30課業日以上入院した児童生徒への対応

#### ②学習指導(授業)の形態ごとの平均回数及び平均時間

(3)本校、分校、分教室を病院内に設置し、学習指導を実施

(延べ校数)



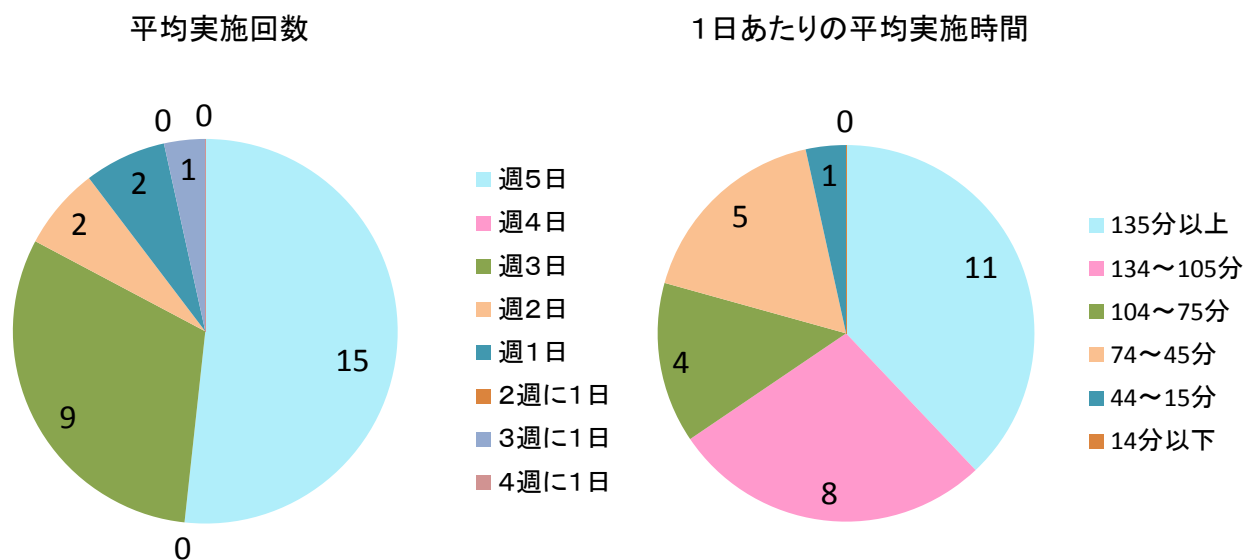
(平成25年度)  
32

### 3 病気やけがにより、延べ30課業日以上入院した児童生徒への対応

#### ②学習指導(授業)の形態ごとの平均回数及び平均時間

(4)他校の教員が病院等に出向き、ベッドサイドや会議室等を借りて学習指導を実施

(延べ校数)



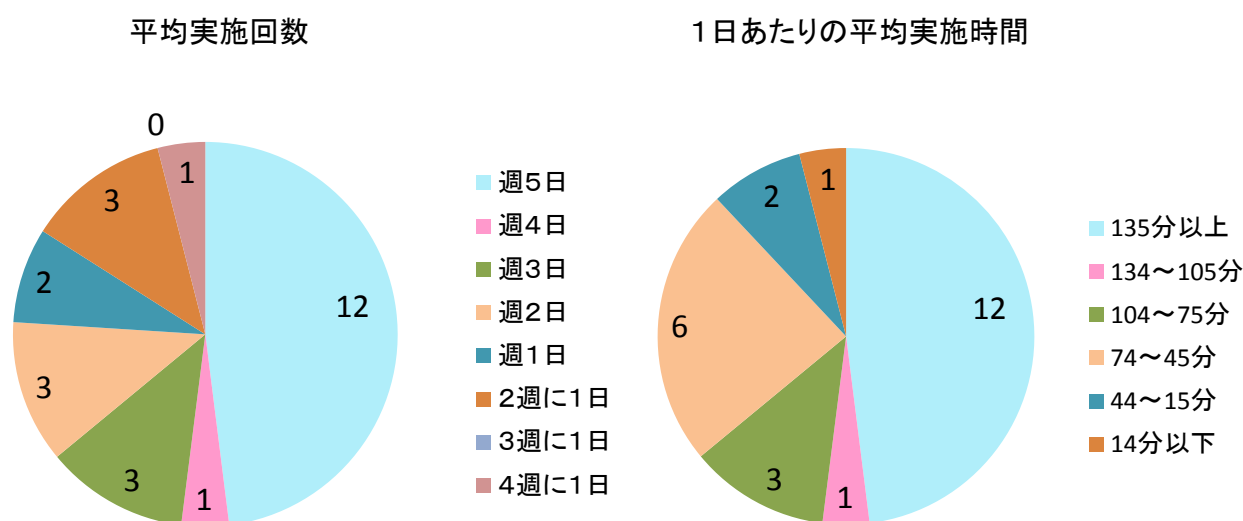
(平成25年度)  
33

### 3 病気やけがにより、延べ30課業日以上入院した児童生徒への対応

#### ②学習指導(授業)の形態ごとの平均回数及び平均時間

(5)その他の方法

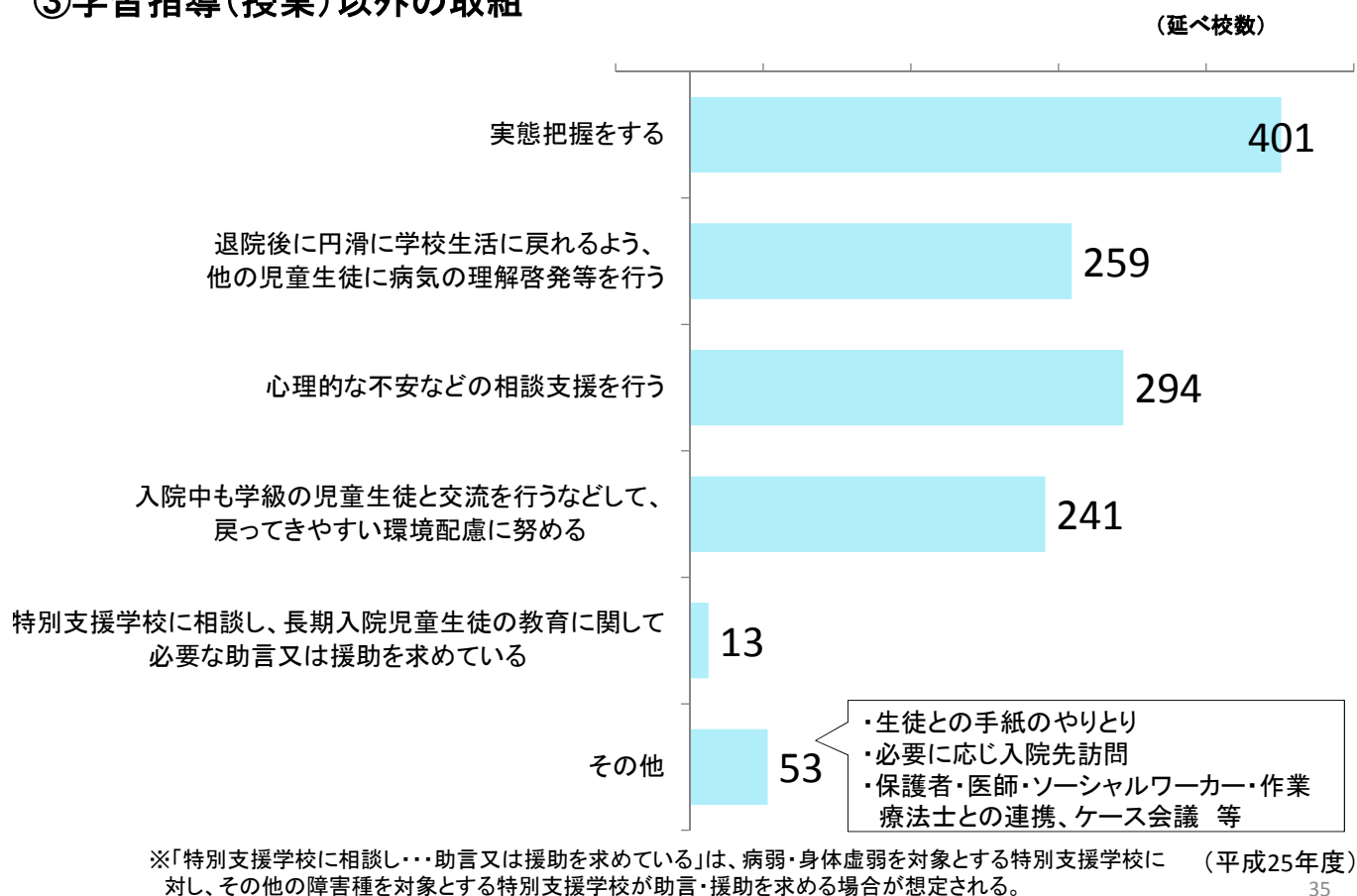
(延べ校数)



(平成25年度)  
34

### 3 病気やけがにより、延べ30課業日以上入院した児童生徒への対応

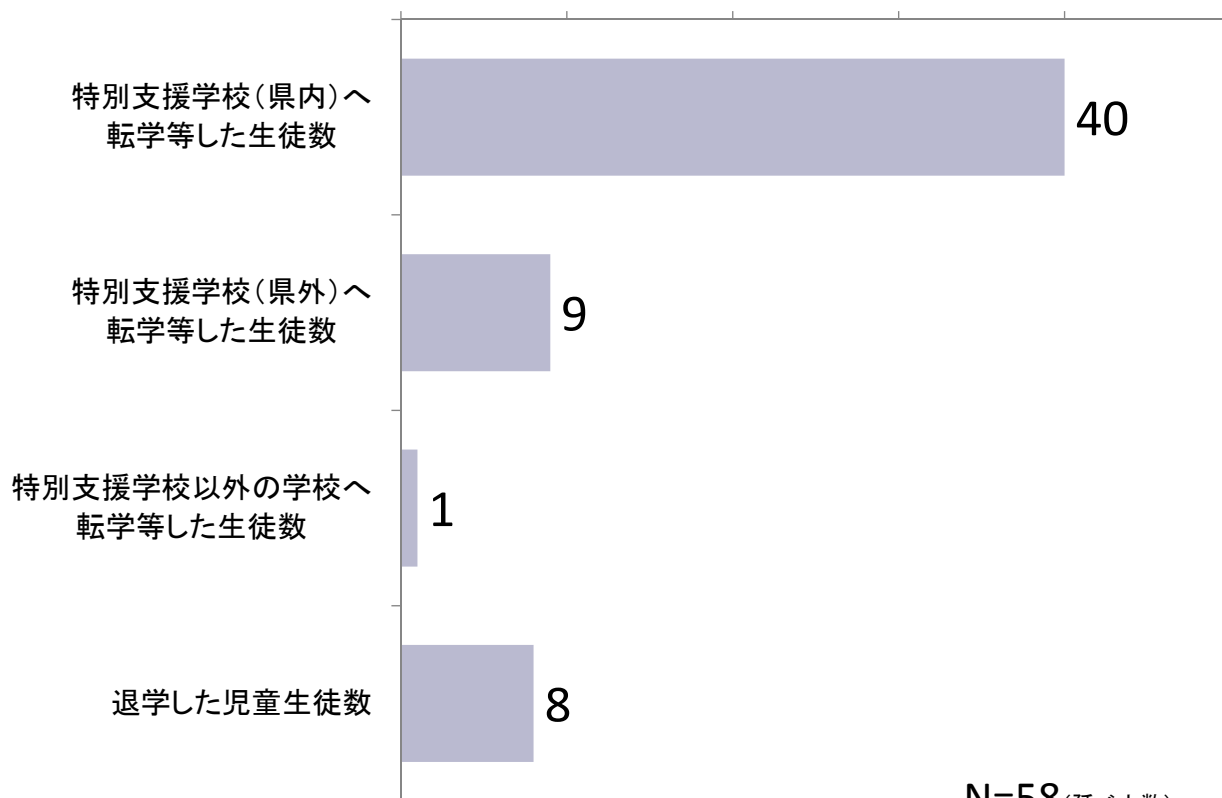
#### ③学習指導(授業)以外の取組



## IV 特別支援学校 高等部(国立、公立、私立 合計)

# 病気やけがによる入院により、転学等をした生徒の転学先

(人)



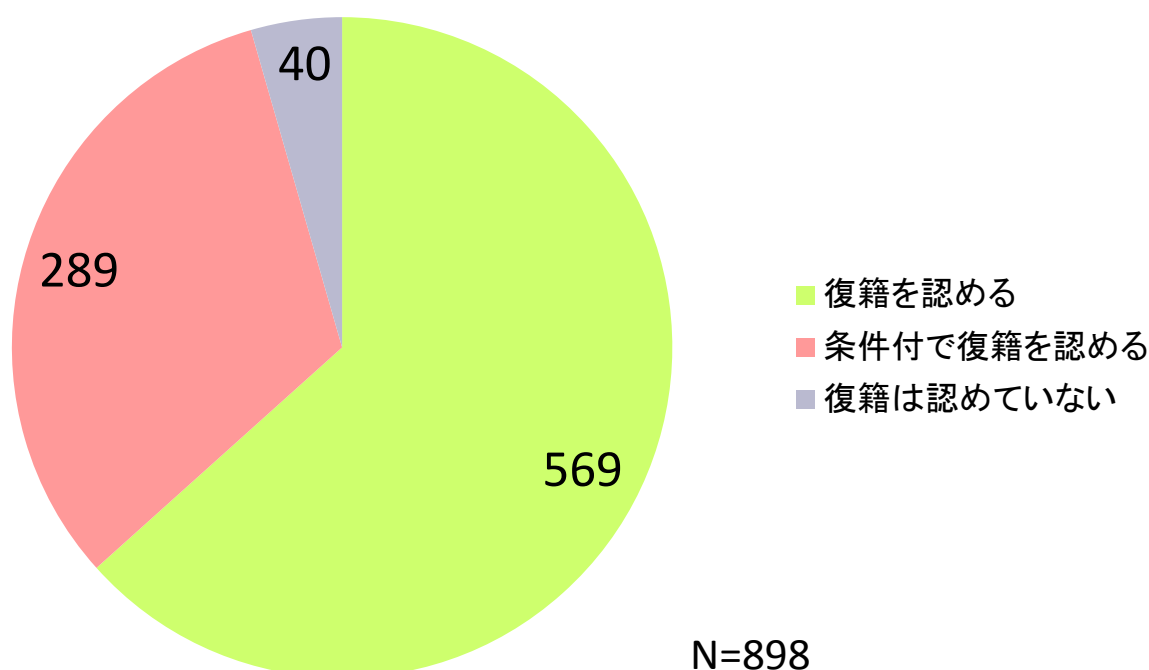
N=58(延べ人数)

(平成25年度)

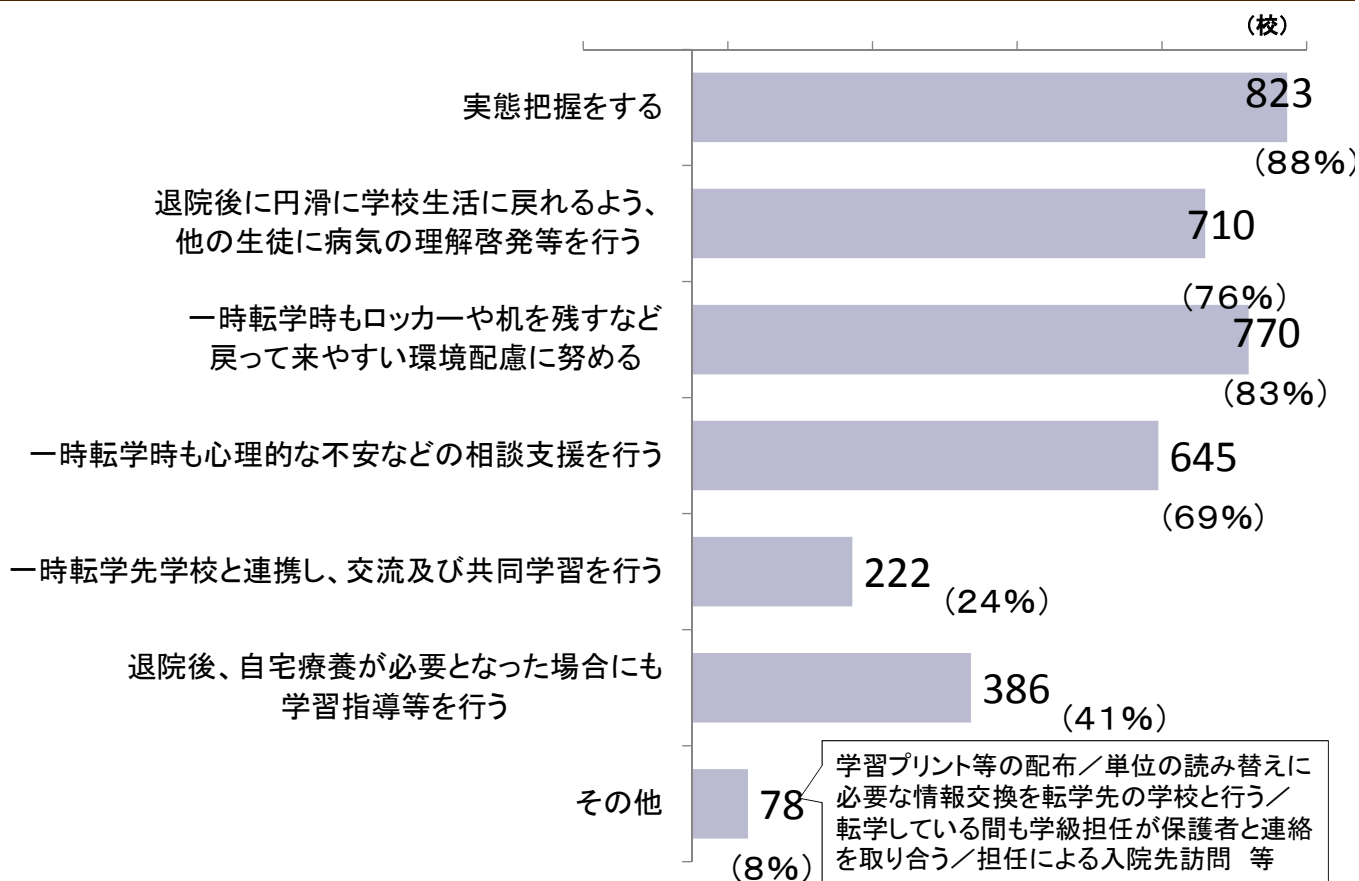
37

# 転学等をした生徒が復籍を希望した場合の取り扱い

(校)

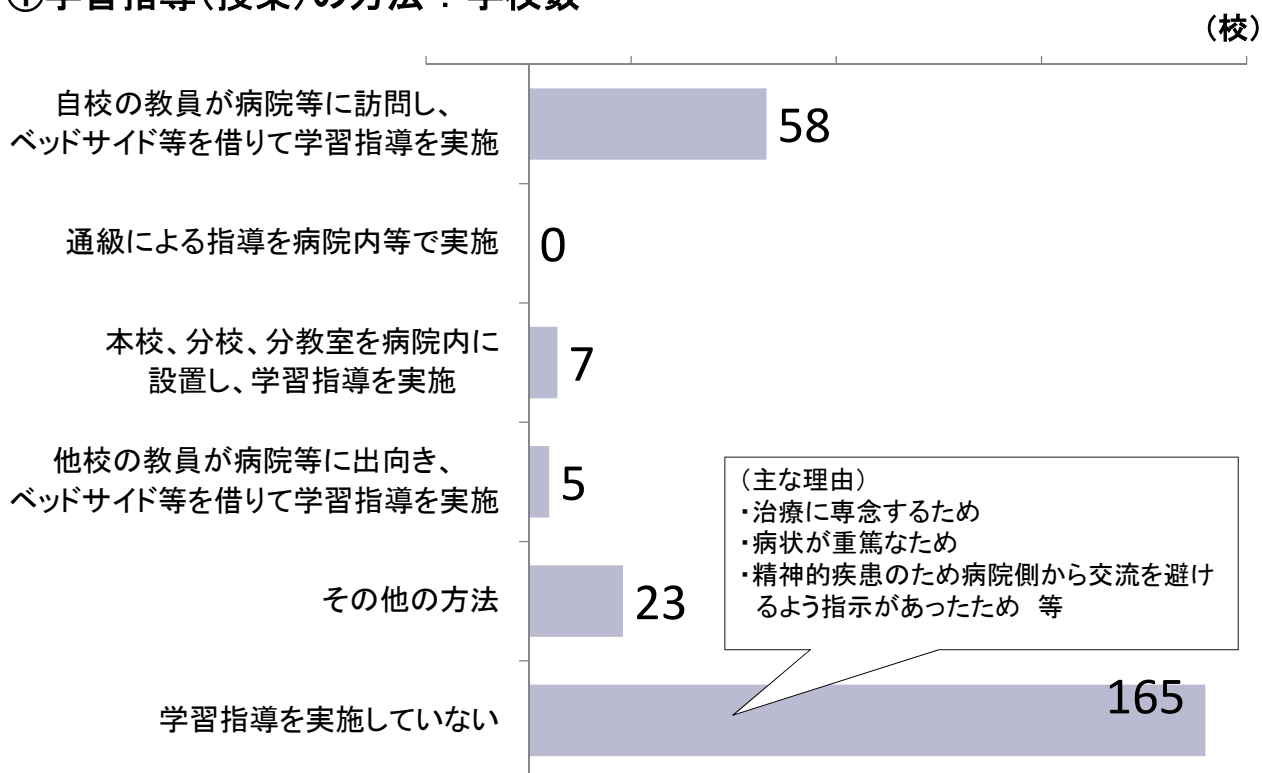


N=898



※ 割合は、平成25年5月1日時点の全高等部数に占める割合 (出典:「学校基本統計」(文部科学省)) (平成25年度)

## ①学習指導(授業)の方法：学校数

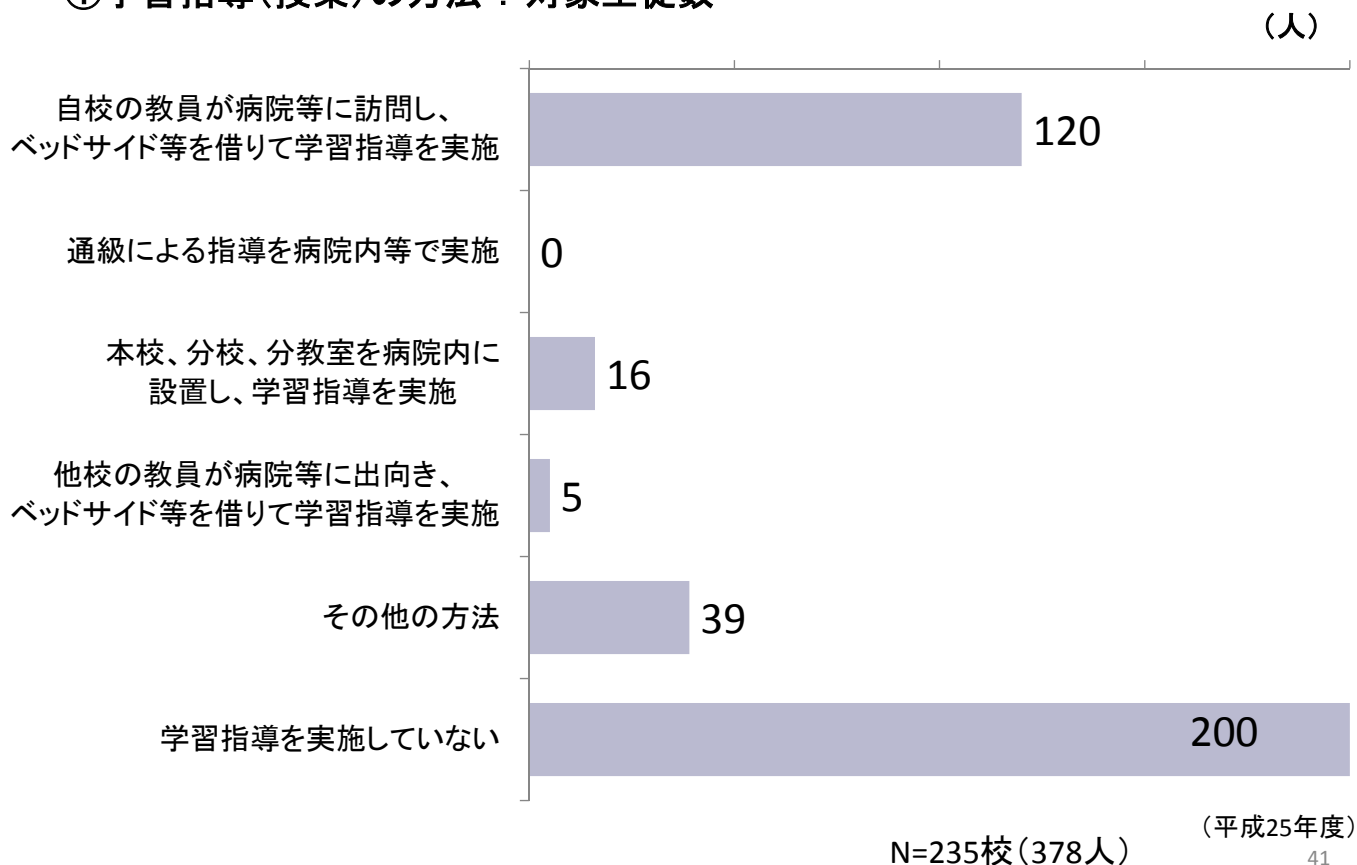


N=235校(378人)

(平成25年度)

## 4 病気やけがにより、延べ30課業日以上入院した生徒への対応

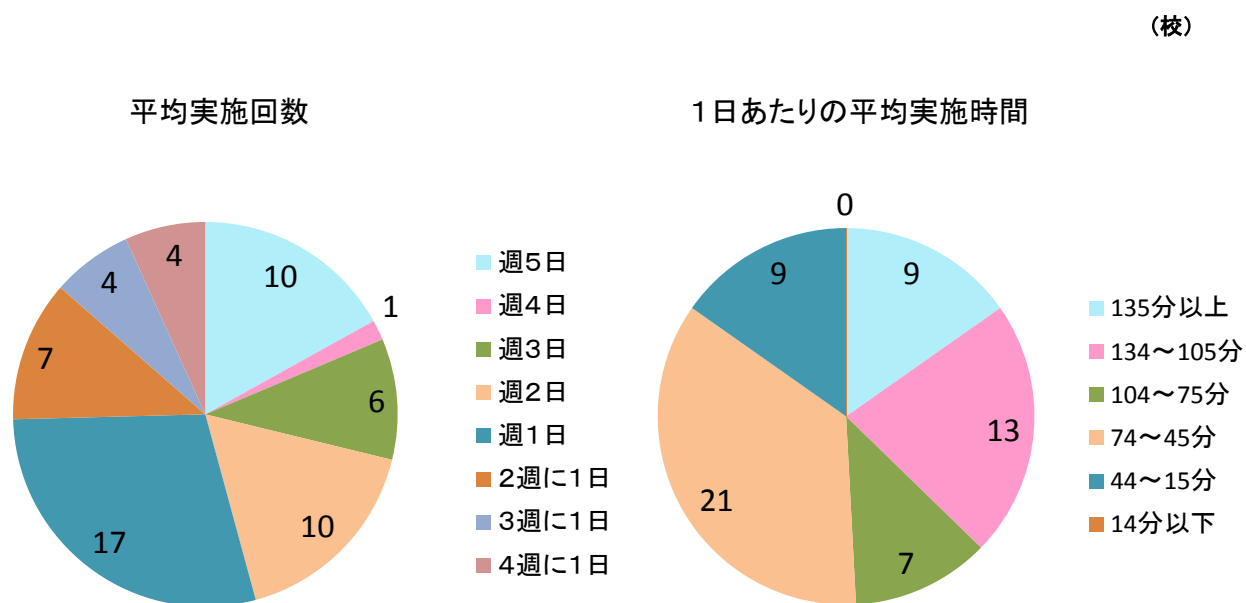
### ①学習指導(授業)の方法：対象生徒数



## 4 病気やけがにより、延べ30課業日以上入院した生徒への対応

### ②学習指導(授業)の形態ごとの平均回数及び平均時間

(1) 自校の教員が病院等に訪問し、ベッドサイド等を借りて学習指導を実施



(平成25年度)

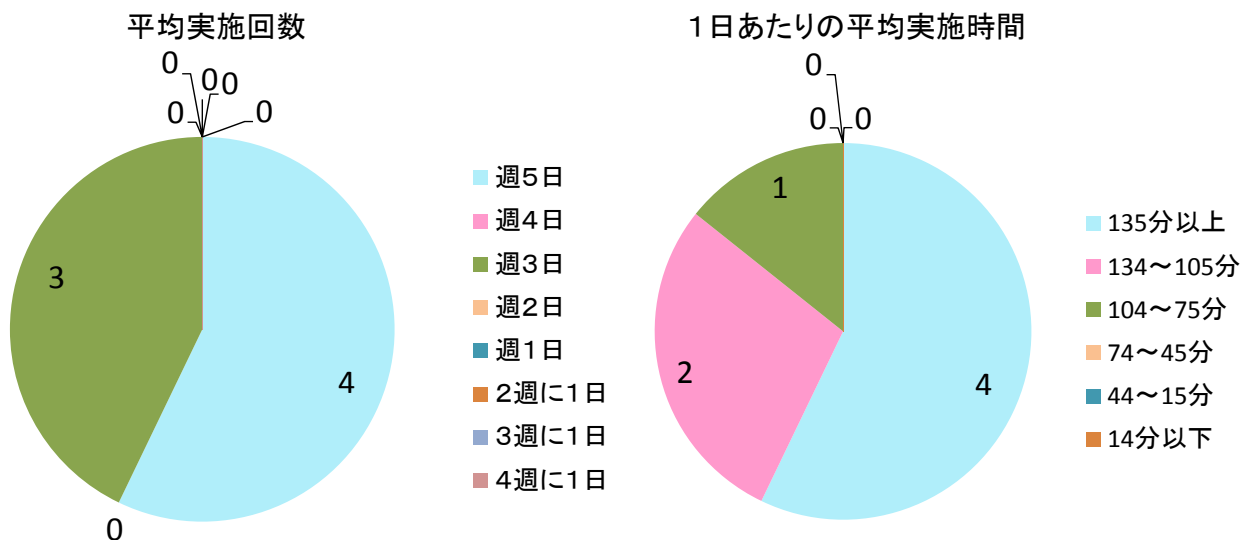


4 病気やけがにより、延べ30課業日以上入院した生徒への対応

②学習指導(授業)の形態ごとの平均回数及び平均時間

(2)本校、分校、分教室を病院内に設置し、学習指導を実施

(校)



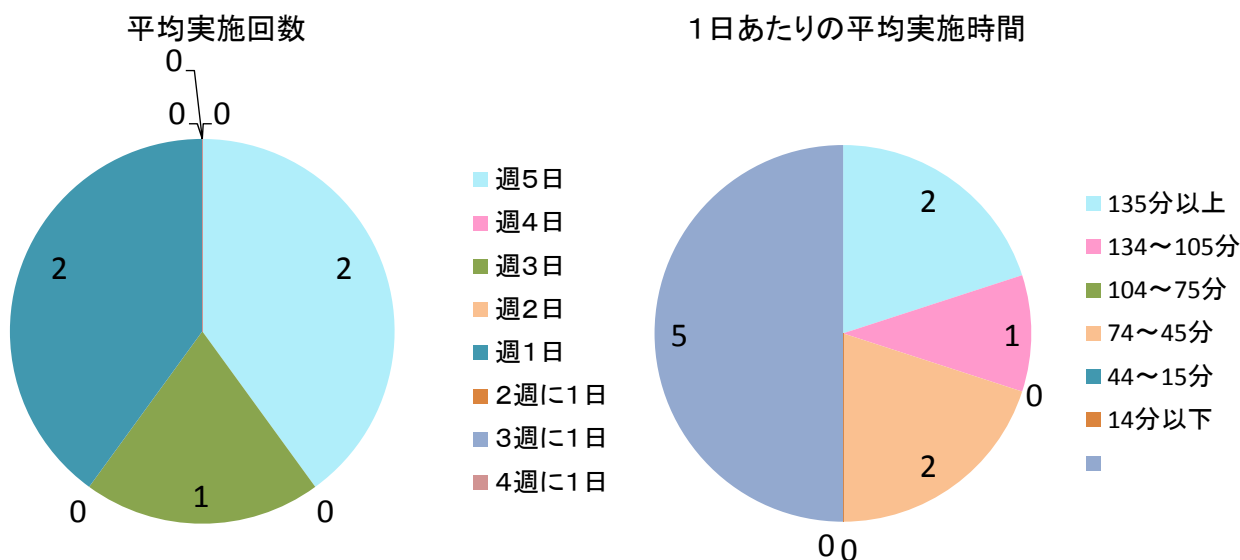
(平成25年度)

4 病気やけがにより、延べ30課業日以上入院した生徒への対応

②学習指導(授業)の形態ごとの平均回数及び平均時間

(3)他校の教員が病院等に出向き、ベッドサイドや会議室等を借りて学習指導を実施

(校)



※ 重複回答をした学校があるため、平均実施回数と平均実施時間の学校数の合計は一致しない。

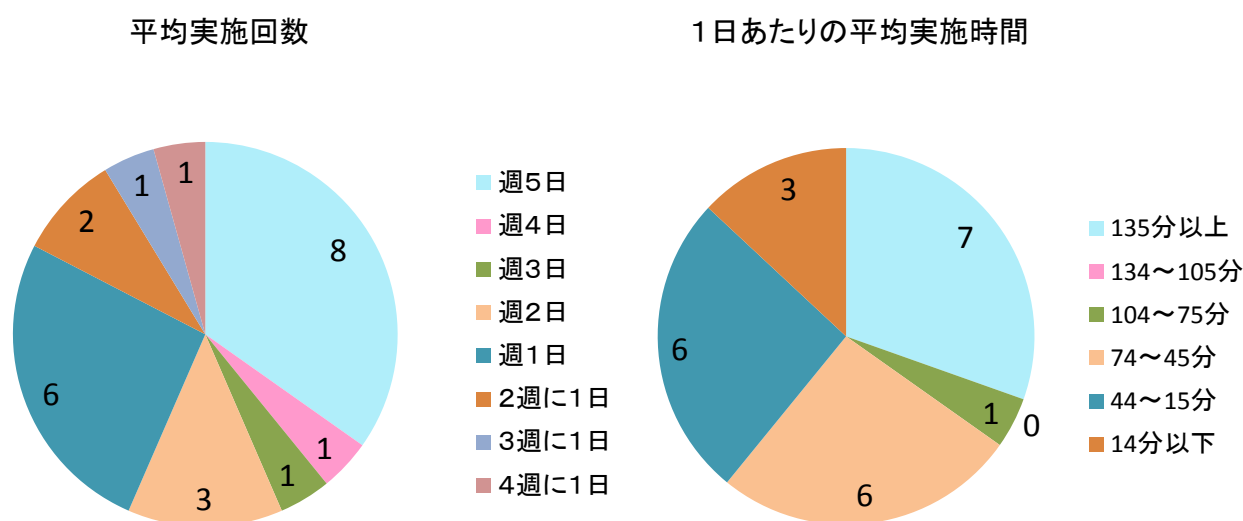
(平成25年度)

## 4 病気やけがにより、延べ30課業日以上入院した生徒への対応

### ②学習指導(授業)の形態ごとの平均回数及び平均時間

#### (4)その他の方法

(校)

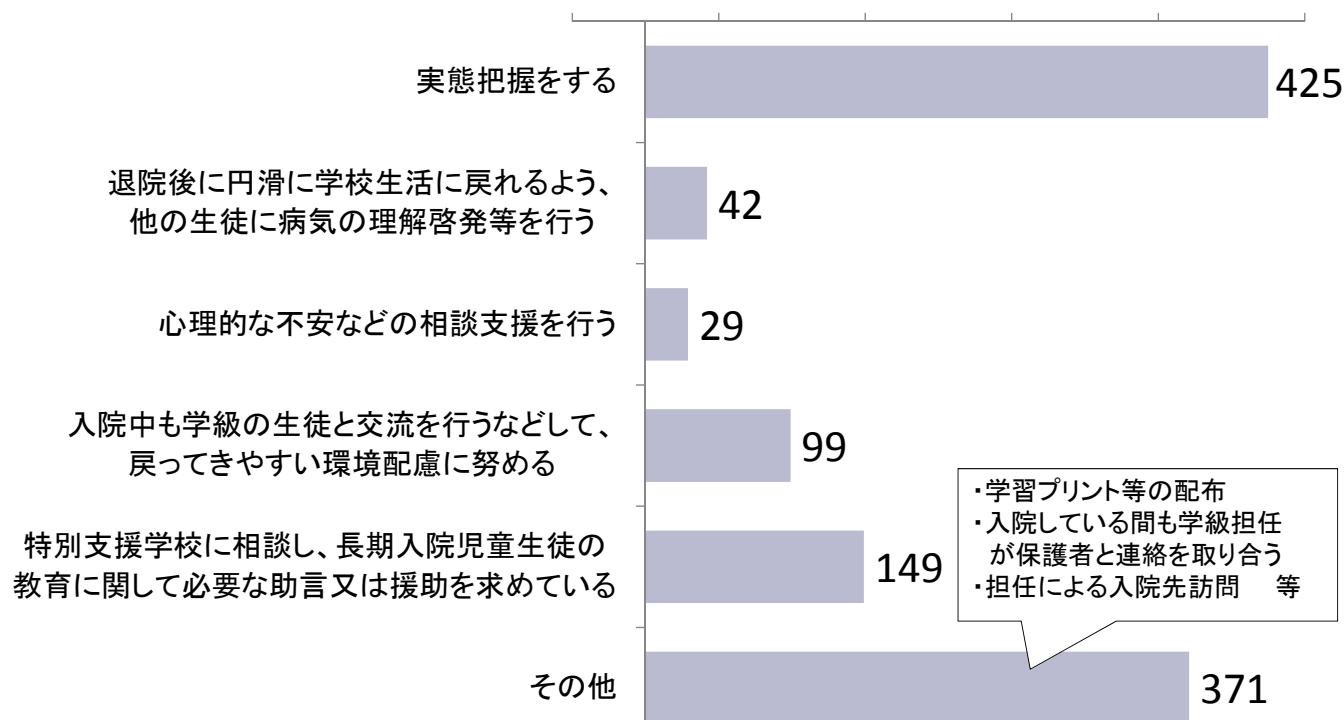


(平成25年度)

45

## 4 病気やけがにより、延べ30課業日以上入院した生徒への対応

### ③学習指導(授業)以外の取組



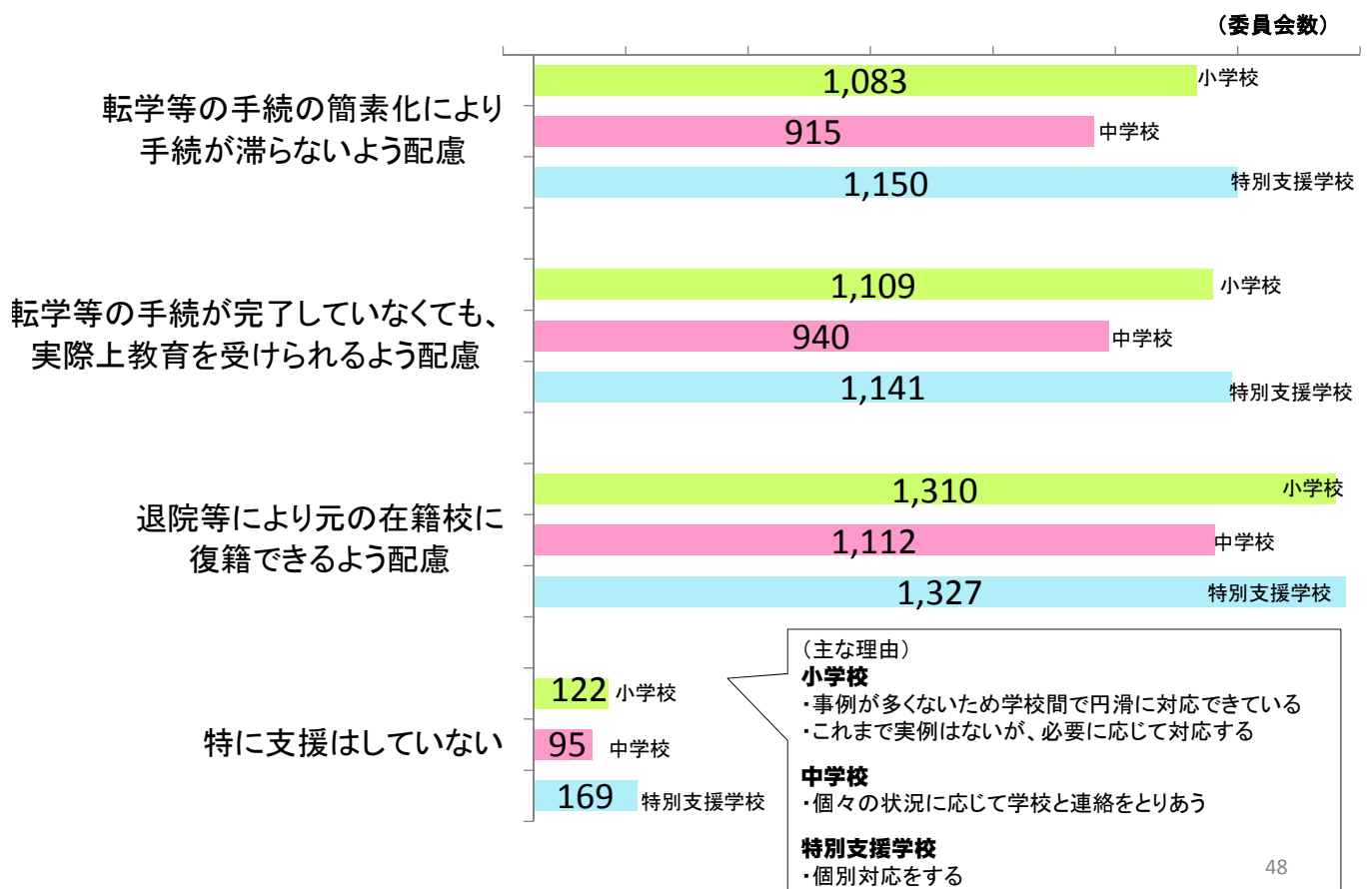
(平成25年度)

※「特別支援学校に相談し・・・助言又は援助を求めている」は、病弱・身体虚弱を対象とする特別支援学校に対し、その他の障害種を対象とする特別支援学校が助言・援助を求める場合が想定される。

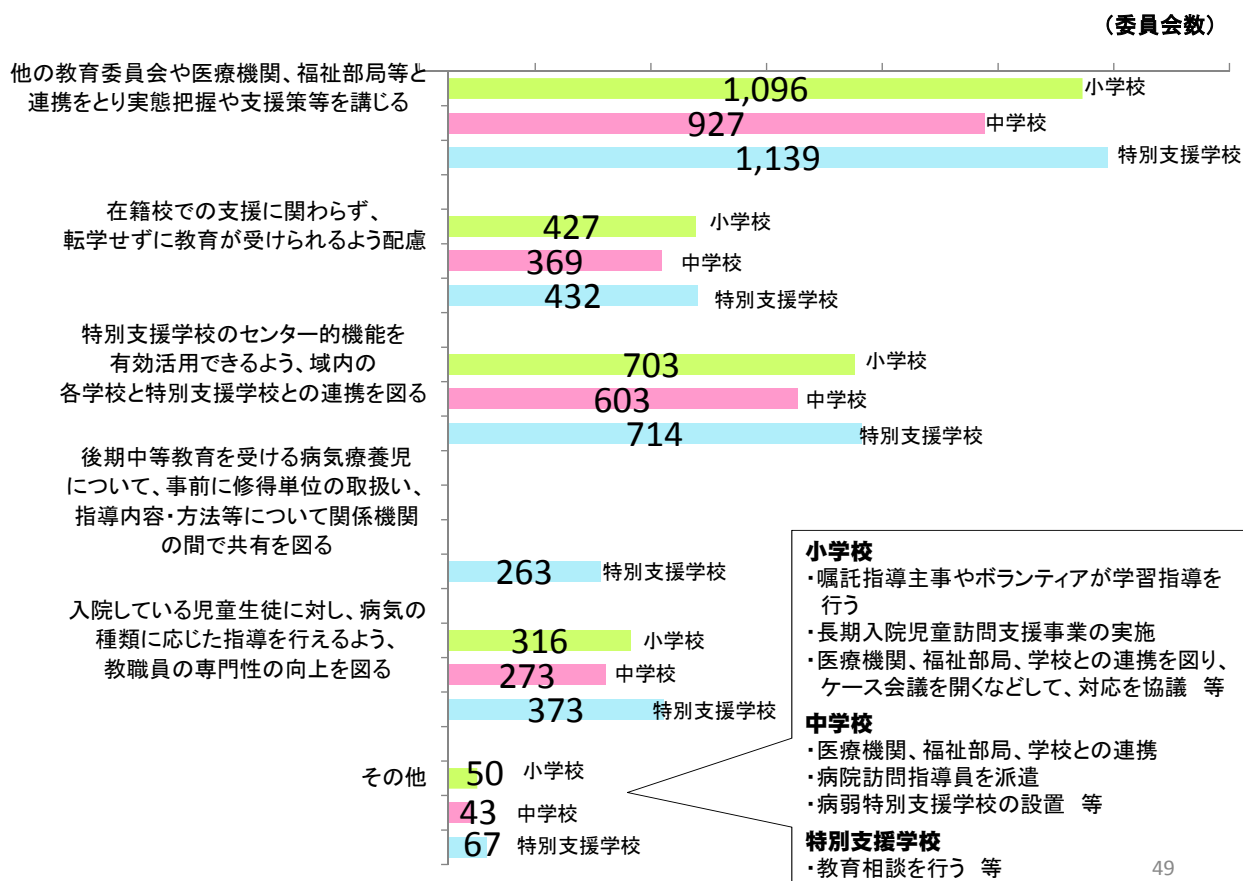
46

## V 教育委員会

### 1 転学等が必要になった場合の支援（小学校、中学校、特別支援学校）



## 2 入院等が必要になった場合の支援（小学校、中学校、特別支援学校）



## 3 転学等が必要になった場合の支援（高等学校）

